

高校生のジェンダーに関する意識調査（第3回）

プロジェクト「ジェンダー」 生徒意識調査班

1. はじめに

本プロジェクトでは、高校生のジェンダーに関する意識調査を継続的に行っている。5年前の調査では、

- ・いまだにいくつかの項目で明らかな男女差が見られるものの縮小の傾向にあること。
- ・一般に女子のほうが男子よりジェンダーフリーな意識が強く現れているが、その差も縮小の傾向にあること。
- ・男女とも共学・別学による意識の差が見られる項目がいくつかあること。
- ・本校におけるジェンダーフリー教育は、いくつかの項目で成果を見せていること。
- ・別学・共学にかかわらず女子の方が学校への満足度が高いこと。
- ・別学の生徒は別学としての欠点を感じつつも別学の価値を認識していること。

が見られた（本校紀要第47号〈2001年度〉）。前調査から5年を経過した現在、学校を取り巻く社会の状況も大きく変わっている。ことに少子化に伴い、子育て支援が検討される一方で、女性の社会進出に対する批判も強くなっている。このような中で、生徒の意識がどのように変化しているのかを調べてみることにした。

2. 調査の実施にあたって

調査にあたっては、本校では1年生（103名）・2年生（112名）・3年生（110名）を対象にし、他校については本校と類似点が多いと思われる、東京都内の国立別学校・共学校2年生を対象とした。調査は2006年度の12月から1月にかけて行った。2年生については女子228名（うち本校女子112名、共学女子116名）、男子276名（うち別学男子158名、共学男子118名）から回答を得た。なお前回本校以外の学校については3年生を対象としたが、今回はこの時期に調査が行いやすい2年生を対象とした。

3. 調査項目

趣旨は前回と変わらないが、重複したり紛らわしかったりする項目を整理した。また回答形式は4段階の選択肢から選ばせる形を基本とした（アンケート項目は巻末に掲げた）。

4. 考 察

以上の調査結果から、5年前との比較を中心に考察を試みた。他校との比較に際しては、本校生徒も2年生のみの結果を用いた。

問1 あなたは、普段、「女」・「男」の違いを意識することがありますか。

女子・男子とも違いを意識する生徒が増えている。2年生女子は「ある」が34.2%であり、1998年「ある」が22.8%であったのに対して2001年度は17.0%と減っていたが、この5年間で倍増したことになる。また「ある」と答えた男子も、共学50.0%（2001年度36.5%）、別学63.9%（同48.4%）と大きく増加しており（前は8年前からほぼ横ばいであった）、別学男子が今回も高い。一方、本校女子と共学女子の「ある」はあまり変わらない。「ややある」まで含めると本校が76.8%に対して共学87.1%と、やや有為な差が見られる。ただ、本校3年生は68.0%とほぼ前回（64.9%）なみである。この5年間に性別役割を当然視する動きが多く見られるようになった社会の反映と見ることもできるかもしれない。前回私たちは、女子校という環境がジェンダー意識からの解放をもたらしていると考え、それは今回も否定されるものではないが、社会の動きのほうが大きいということは言えそう。ただ、違いを意識することがそのまま性別役割分業を是認するものとは必ずしも言えず、より精緻な調査が必要であろう。

問2 あなたが女性なら、「女らしく」、あなたが男性なら、「男らしく」ありたいと思いますか。

「思う」「やや思う」の合計が、男子79.8%←70.5%（2001年度）←76.5%（1998年度）、女子68.4%←43.1%←52.9%で、1と同様の経年変化を見せている。共学女子は78.4←52.0%←67.0%、本校女子も58.0←36.9%←41.7%と大きく揺り戻している。

問3 あなたの保護者は、あなたに「女らしく」・「男らしく」あって欲しいと望んでいますか。

男子保護者（18.5%←24.6%←25.0%）、女子保護者（16.7%←20.7%←30.7%）ともに、生徒の意識とはかかわらずに微減している（前回調査では「望んでいる」「望んでいない」「どちらとも言えない」という3つの選択肢しかなかったため、今回は「望む」だけをカウントし「やや望む」は数値に含めなかった）。

問4 今の性別に満足していますか。（今回新設。前回までの「もし生まれ変わることができるとしたら女と男のどちらに生まれたいですか」に代わる）

回答は以下の通りである。

満足	男子68.8%	別学男子68.4%	共学男子69.5%
	女子53.1%	本校女子58.0%	共学女子48.3%

共学別学にかかわらず、男子の満足度が高い。本校女子の満足度がやや高いが、女子校にいるために男女差別を受けていない、本校に入学できたことに満足している等の理由が考えられるが、この間についても、もう少し丁寧な調査が必要であろう。

問5 理想とする女性・男性の条件として、次の項目はどの程度重要ですか。(前回の複数の設問を改訂、統合した)

設問が前回と異なるので、前回との比較は行わず、各項目の「重要」と答えた生徒の割合(%)を下の表に示す。

「理想とする女性」を見ると、男子と女子の理想とする項目はかなり異なる。「気持ちのやさしさや協調性」「明るい性格」は双方とも高い一方、男子は「積極性と発言力」「リーダーシップ」「仕事の能力」などを女性に求めているのに対し、女子は「責任感」「仕事の能力」を求めている。共学男子に対して別学男子は「論理性・判断力」「知識・教養」「容姿や体格がよいこと」を重視している。また本校女子は共学女子と比べて、「責任感」「経済的な自立」「積極性と発言力」「リーダーシップ」を女性に求めており、「家事・育児能力」を重視していない。

これに対して「理想とする男性」で重視されるものは、男女で大きくは異ならない。ただ、「容姿や体格がよいこと」と「控えめでおとなしい」を除いておおむね女性の方が数値が高い。期待される役割が男性の方が多いということのようだ。

理想とする女性の条件として、「重要」と答えた生徒の割合(%)

理想とする女性の条件	別学男子	共学男子	男子計	女子計	共学女子	本校女子
1 積極性と発言力	26.0	17.0	22.1	41.7	27.6	56.3
2 論理性・判断力	41.8	23.7	34.1	56.6	50.9	62.5
3 リーダーシップ	20.3	11.0	16.3	33.3	22.4	44.6
4 責任感	40.5	33.9	37.7	67.1	59.5	75.0
5 知識・教養	54.4	35.6	46.4	69.3	71.6	67.0
6 家事・育児能力	61.4	58.5	60.1	57.5	68.1	46.4
7 仕事の能力	29.8	27.1	28.6	55.7	56.0	55.4
8 経済的な自立	25.3	22.0	23.9	45.6	37.9	53.6
9 容姿や体格が良いこと	48.1	29.7	40.2	30.3	33.6	26.8
10 気持ちのやさしさや協調性	69.6	69.5	69.6	68.4	74.1	62.5
11 明るい性格	46.8	44.9	46.0	51.8	56.0	47.3
12 控えめでおとなしい	26.6	17.0	22.5	7.5	10.3	4.5

理想とする男性の条件として、「重要」と答えた生徒の割合 (%)

理想の男性の条件	別学男子	共学男子	男子計	女子計	共学女子	本校女子
1 積極性と発言力	52.5	41.5	47.8	58.3	52.6	64.3
2 論理性・判断力	64.6	56.8	61.2	70.6	69.0	72.3
3 リーダーシップ	50.6	43.2	47.5	53.1	50.0	56.3
4 責任感	60.1	63.6	61.6	80.8	79.3	82.1
5 知識・教養	58.2	55.9	57.3	71.9	70.7	73.2
6 家事・育児能力	30.4	19.5	25.7	31.1	24.1	38.5
7 仕事の能力	59.5	63.6	61.2	77.2	78.5	75.9
8 経済的な自立	58.2	64.4	60.9	78.5	78.5	78.6
9 容姿や体格が良いこと	34.8	28.8	32.3	23.7	24.1	23.7
10 気持ちのやさしさや協調性	51.3	56.8	53.6	64.5	64.7	64.3
11 明るい性格	39.9	40.7	40.2	45.6	44.0	47.3
12 控えめでおとなしい	22.8	9.3	17.0	1.8	0.9	2.7

問6 あなたの高校卒業後の進路として希望しているものはどれですか。

ほぼ全員が大学・大学院への進学を希望している。

問7 進学を希望する人は、現段階でどのような専攻分野を希望していますか。

希望する専攻分野を上位5位まで男女別に挙げると、以下のとおりである。(括弧内は2001年度の数字 女子は「その他」が第5位になるが除外した)

女 子			男 子		
1位	②社会科学	26.3% (27.1)	1位	②社会科学	26.5% (34.6)
2位	①人文科学	20.2% (21.3)	2位	④工 学	19.2% (18.6)
3位	⑤医学・歯学	14.5% (14.4)	3位	③理 学	17.0% (16.4)
4位	③理 学	9.7% (前回は薬学8.5)	4位	⑤医学・歯学	14.9% (16.4)
5位	⑩芸 術	6.1% (8.0)	5位	①人文科学	12.0% (7.7)

女子の希望で薬学が減って理学が増加したことが今回の特徴で、薬学が6年制になったことが影響していると考えられる。また男子の人文科学志望がやや増えているようである。

問8 専攻分野を決める際に、次の条件をどの程度重視しますか。

男女とも「自分の好みにあった分野」を重視する生徒が多く、しかも前回(専攻分野の勉強が好きだから)より大幅に増えている(女子・男子とも64.4%)。一方「一生続けられる職業につける分野」が男女とも40%を超え、数%であった前回は大きく上回り、不安定な社会を示していると言えそうだ。ただ、前回はあてはまるもの3つまでを挙げさせるようにしたが、今回は数の指定をしていないので、

これ以上の比較はできない。

専攻分野を決める際の条件として、「重要」と答えた生徒の割合（％）

	別学男子	共学男子	男子計	女子計	共学女子	本校女子
1 専門職に就くための資格・技能・知識が得られること	55.1	43.2	50.0	46.5	45.7	47.3
2 自分の適性にあった分野	70.3	70.3	70.3	68.0	67.2	68.8
3 自分の好みにあった分野	81.0	81.4	81.2	88.2	92.2	83.9
4 就職に有利な分野	33.5	30.5	32.3	37.2	25.0	29.5
5 社会の役に立つ分野	38.0	33.1	35.9	29.0	24.1	33.9
6 一生続けられる職業に就ける分野	48.7	41.5	45.7	38.2	36.2	40.2
7 高い収入を得られる職業に就ける分野	33.5	22.9	29.0	22.8	15.5	30.4
8 社会的地位の高い職業に就ける分野	29.1	17.0	23.9	13.6	7.8	19.6

問9 将来どのような職業に就くことを希望しますか。

上位5位を挙げると下の通りである。

女 子

1位 ⑩ 医 師	14.5%
2位 ⑳ 放送・出版関係	8.8%
3位 ① 会社員一般職	5.7%
4位 ⑬ 研究職・大学教員	5.3%
5位 ④ 公務員	4.4%

男 子

1位 ⑬ 研究職・大学教員	18.8%
2位 ⑩ 医 師	12.3%
3位 ⑦ 弁護士・裁判官・検察官	8.3%
4位 ① 会社員一般職	5.8%
5位 ⑲ 建築士	3.6%

5位 ⑦ 弁護士・裁判官・検察官 同上

女子の「研究職・大学教員」が1位(13.8%)から4位に後退(98年度は3位、9.8%)し、2位(10.8%)から8位(4.3%)に下がっていた「放送・出版」が再び2位に浮上している。男子は研究職・大学教員と医師の1・2位は変わらない。ただし、前回と違って「未定」を選択肢に加え、これを選んでいる者が多いため、数値の変化はあまり意味を持たない。

問10 あなたは職業（就職先）を選ぶとき、次の項目をどの程度重視しますか。（「その他」は除く）

「能力・資質が生かせること」、「専攻分野が生かせること」は、男女ともに高いが、3番目に来る項目に差が生じる。別学男子が「高い収入」、共学男子が「家庭と両立」と分かれるのに対し、女子はともに「男女差（性差別）がない」であり、女子にとって切実な問題であることを示している。

職業（就職先）を選ぶ際に、「重視する」と答えた生徒の割合（％）

	別学男子	共学男子	男子計	女子計	共学女子	本校女子
1 能力・資質を生かせること	74.7	68.6	72.1	74.1	76.7	71.4
2 専攻分野が生かせること	57.6	54.2	56.2	61.0	61.2	60.7
3 社会的評価が高いこと	31.7	21.2	27.2	20.6	19.0	22.3
4 高い収入が得られること	39.9	30.5	35.9	28.1	30.2	25.9
5 家庭と両立しやすいこと	30.4	37.3	33.3	26.3	25.0	27.7
6 男女差（性差別）がないこと	17.7	15.3	16.7	35.1	32.8	37.5

参考：前回の結果（8項目から重視するものを3つ程度選択する形式）

女子	1位	(1)「能力・資質が生かせること」	80.3%
	2位	(2)「専攻分野が生かせること」	60.6%
	3位	(6)「男女差（性差別）がないこと」	27.7%
	4位	(4)「高い収入が得られること」	27.1%
	5位	(3)「社会的評価が高いこと」	13.8%
男子	1位	(1)「能力・資質が生かせること」	82.3%
	2位	(2)「専攻分野が生かせること」	51.4%
	3位	(4)「高い収入が得られること」	33.2%
	4位	(3)「社会的評価が高いこと」	21.8%
	5位	(5)「家庭と両立しやすいこと」	13.2%

問11 あなたは、将来女性の上司のもとで働くとしたら、そのことに抵抗を感じますか。

男子の抵抗感が「やや抵抗を感じる」も含め18.1%（22.7←25.7）と、少しずつながら着実に薄れていることがわかる。別学と共学の差もさらに縮まっている。

問12 日本における男女平等はどの程度実現していると考えますか。

(1) 家庭生活

「男女平等」と考える男子29.7%（←18.2）、女子18.0%（←18.6）で、男子の平等感が上昇して男女の差が拡大している。

(2) 職場

男子15.6%（←4.1）、女子6.1%（←3.7）で、男子が増加していることが注目されるが、男子を含めて多くの生徒は職場の男女平等は達成されていないという認識を持っている。

(3) 学校教育

男子64.9%（←61.8）、女子67.1%（←64.4）で、男女を問わず約3分の2の生徒が平等であると考

えている。

(4) 政治の場

男子21.4% (←14.5)、女子7.5% (←5.8) で、男子は若干平等感が強いが、男子を含めても平等であると感じている生徒は少ない。

(5) 法律・制度

男子50.4% (←40.9)、女子35.5% (←29.0) で、男女差はあるものの、ともに平等感が強まっている。

(6) 社会通念・慣習・しきたりなど

男女とも平等とは感じていない者が多いが、平等と考える男子19.6% (←12.7) が、女子11.8% (←11.9) と比べて増え、女子との意識差が生じている。

各項目を「男女平等」と答えた生徒の割合 (%)

	別学男子	共学男子	男子計	女子計	共学女子	本校女子
1 家庭生活	29.8	29.7	29.7	18.0	23.3	12.5
2 職 場	15.8	15.3	15.6	6.1	5.2	7.1
3 学校教育	61.4	69.5	64.9	67.1	76.7	57.1
4 政治の場	24.7	17.0	21.4	7.5	8.6	6.3
5 法律・制度	47.5	54.2	50.4	35.5	40.5	30.4
6 社会通念・慣習・しきたりなど	19.6	19.5	19.6	11.8	12.1	11.6

問13 あなたはいずれ結婚しようと考えていますか。

結婚の希望を持つ生徒が、男子72.5% (←55.5←60.4)、女子が66.7% (←48.4←57.1) で、男女とも減少の後増加している。

問14 あなたが結婚する場合、次の項目をどの程度重視しますか。

「年齢」を重視する生徒は男子に多い。「学歴」を重視する生徒は別学男子、ついで本校女子に多い。「職業」重視は女子に多い。「家柄」重視は別学男子、ついで本校女子に多い。「家族構成」重視は別学男子にやや高い。「経済力」へのこだわりは女子に強く、ことに本校女子が重視している。「家事・育児能力」は男子ことに別学男子の重視度が高いが、本校女子も低くない。「容姿」は男子、ことに別学男子にこだわりが強い。「価値観の共通性」はさすがに男女を問わず高いが、別学男子がやや低い。「自分の職業継続への理解」は全項目を通じて高く、男子も「価値観の共通性」と1位を争っている。

このように男女差のあるもののほかに、別学と共学の差がある項目、ことに別学男子に特徴的な項目がいくつかあり、細かい調査を試みる必要があるようである。

結婚する際に、各項目を「重視する」と答えた生徒の割合 (%)

	別学男子	共学男子	男子計	女子計	共学女子	本校女子
1 年 齢	42.4	40.7	41.7	28.5	31.9	25.0
2 学 歴	26.0	12.7	20.3	21.1	17.2	25.0
3 職 業	22.2	16.1	19.6	39.0	36.2	42.0
4 家 柄	17.7	7.6	13.4	9.2	6.0	12.5
5 家族構成	18.4	9.3	14.5	10.1	11.2	8.9
6 経 済 力	17.7	10.2	14.5	45.2	41.4	49.1
7 家事・育児能力	51.3	35.6	44.6	24.6	19.8	29.5
8 容 姿	42.4	22.9	34.1	18.4	12.9	24.1
9 価値観の共通性	57.0	67.0	61.2	68.0	69.8	66.1
10 自分の職業継続への理解	58.2	62.7	60.1	66.2	64.7	67.9

問15 夫婦間の役割についてあなたの考えに一番近いものを1つ選んでください。

従来の性別役割分業型の夫婦を望む男子は、①「夫は仕事をして、妻は家事・育児に専念する」36.2% (←17.7←23.5) と減少の後5年間で倍以上に増え (②「夫は仕事をして、妻は家事・育児をした上に仕事をする」15.6% (←15.5←22.0) は横ばい)、前回著しい増加を見せた③「夫婦とも仕事を持ち、家事・育児は平等に分担する」42.0% (←60.9←44.0) は激減して過去最低の数値となった。女子は、①「夫は仕事をして、妻は家事・育児に専念する」8.8% (←4.8←5.4)、②「夫は仕事をして、妻は家事・育児をした上に仕事をする」18.0% (←9.0←10.8) とともに殆ど倍増し、③「夫婦とも仕事を持ち、家事・育児は平等に分担する」は71.1% (←81.4←78.0) で、これも過去最低の数値である。別学・共学の差は男子においてはさほど顕著でないが、女子は、①共学14.7% (←3.9)、本校4.9% (←5.4)、③共学64.7% (←80.5)、本校80.6% (←82.0) と意識の差が大きい。5年前と比べて共学女子の両立志向が弱まっているようである。

問16 職業と家庭の両立について、あなた自身と配偶者への希望を1つずつ選んで番号で教えてください。

女子で、②結婚退職を選ぶ者は2.2% (←3.2)、③出産退職を選ぶ者は10.5% (←2.6) で、女子の職業継続意欲は高いものの減少気味である。男子で妻に②結婚退職を望む者は11.0% (←7.3)、③出産退職を望む者は14.9% (←11.8) で、ともに増加している。性別役割分業を望む者が男女とも増加しているわけである。本校生徒も、⑤「結婚・子どもにかかわらず仕事を続ける」選択が、前回67.6%であったのに、今回は48.2%と激減している。共学女子 (40.5%) より高いとはいえ、社会情勢を反映しているものと考えられる。

問17 結婚しなくても、幸せな人生を送ることができると思いますか。

女子が「そう思う」「ややそう思う」合計75.0% (←84.0) であるのに対し、男子は62.0% (←67.3) で、いずれも微減しつつ男女の意識の違いはなお見られる。本校女子の「そう思う」52.7% (←54.1) も微減傾向だが、共学女子35.3% (←40.3) よりも高い。

問18 男女が希望すればそれぞれ結婚前の姓を名乗る「別姓による結婚」が法的に認められるべきであると思いますか。(新設の問い)

「そう思う」は男子26.5%、女子36.0%、「ややそう思う」を含めると、男子47.1%、女子67.1%である。また「そう思わない」者は、男子17.8%、女子7.0%で、男女の意識差がうかがえる。また別学男子は「そう思う」30.4% (共学21.2)、「そう思わない」21.5% (同12.7) で、いずれにせよ明確な意見を持つ生徒が多いことを示している。

5. 終わりに

今回の調査では、男女を問わず全体的にジェンダー意識の保守化が見られた。5年前に比べて男女の意識差の縮小が見られる項目もあったが、社会全体の風潮を反映して、生徒全体が保守化しているものと考えられる。長期にわたる経済不安と労働条件の悪化、「ジェンダーフリー」へのバックラッシュ等が生徒の意識に影響を与えていることが数字の上で改めて示された。前回考察では、本校におけるジェンダー教育が多少の成果を見せていることを挙げたが、保守化傾向を食い止めるには至っていないことも明らかになった。調査結果を今後の教育活動に生かしていく必要を感じている。また、いくつかの設問に不備な点もあり、次回はより有効な調査を行いたい。ご意見・ご指摘をいただければ幸いである。

高校生のジェンダーに関する意識調査－1

高等学校 ()年 ()組

お茶の水女子大学附属高等学校では、ジェンダー（社会的・文化的に作られた性差）についての研究をしています。今年度は生徒を対象としたアンケート調査を実施することにしましたので、ご協力ください。

選択肢から最も適していると思われる答えの番号を、右端の枠内に記入してください。

なお、質問は裏にもあります。

1. あなたは、普段、「女」・「男」の違いを意識することがありますか。

① ある ② ややある ③ あまりない ④ ない

1

2. あなたが女性なら、「女らしく」、あなたが男性なら、「男らしく」ありたいと思いますか。

① 思う ② やや思う ③ あまり思わない ④ 思わない

2

3. あなたの保護者は、あなたに、「女らしく」・「男らしく」あつて欲しいと望んでいますか。

① 望む ② やや望む ③ あまり望まない ④ 望まない

3

4. 今の性別に満足していますか？

① 満足である ② どちらかと言えば満足である
③ どちらかと言えば不満である ④ 不満である

4

5. 理想とする女性・男性の条件として、次の項目はどの程度重要ですか。

A 理想とする女性の条件として

1 重要 2 やや重要 3 あまり重要でない 4 重要でない

(1) 積極性と発言力		5 A 1
(2) 論理性・判断力		5 A 2
(3) リーダーシップ		5 A 3
(4) 責任感		5 A 4
(5) 知識・教養		5 A 5
(6) 家事・育児能力		5 A 6
(7) 仕事の能力		5 A 7
(8) 経済的な自立		5 A 8
(9) 容姿や体格がよいこと		5 A 9
(10) 気持ちのやさしさや協調性		5 A 10
(11) 明るい性格		5 A 11
(12) 控えめでおとなしい		5 A 12

B 理想とする男性の条件として

1 重要 2 やや重要 3 あまり重要でない 4 重要でない

(1) 積極性と発言力		5 B 1
(2) 論理性・判断力		5 B 2
(3) リーダーシップ		5 B 3
(4) 責任感		5 B 4
(5) 知識・教養		5 B 5
(6) 家事・育児能力		5 B 6
(7) 仕事の能力		5 B 7
(8) 経済的な自立		5 B 8
(9) 容姿や体格がよいこと		5 B 9
(10) 気持ちのやさしさや協調性		5 B 10
(11) 明るい性格		5 B 11
(12) 控えめでおとなしい		5 B 12

6. あなたの高校卒業後の進路として希望しているものはどれですか。

6

- ① 大学・大学院 ② 短大 ③ 専門学校 ④ 就職
⑤ その他 ()

7. 進学を希望する人は、現段階でどのような専攻分野を希望していますか。

7

- ① 人文科学 (文学・語学・地理・歴史・哲学・心理学 等)
② 社会科学 (法学・政治学・経済学・商学 等)
③ 理学 ④ 工学 ⑤ 医学・歯学 ⑥ 薬学 ⑦ 保健
⑧ 農学 ⑨ 教育学 ⑩ 家政学 ⑪ 芸術 ⑫ その他 ()

8. 専攻分野を決める際に、次の条件をどの程度重視しますか。

1 重視する 2 やや重視する 3 あまり重視しない 4 重視しない

(1) 専門職に就くための資格・技能・知識が得られること		81
(2) 自分の適性にあった分野		82
(3) 自分の好みにあった分野		83
(4) 就職に有利な分野		84
(5) 社会の役に立つ分野		85
(6) 一生続けられる職業につける分野		86
(7) 高い収入を得られる職業につける分野		87
(8) 社会的地位の高い職業につける分野		88

9. 将来どのような職業に就くことを希望しますか。

 9

- ① 会社員（一般職） ② 会社員（総合職） ③ キャリア官僚 ④ 公務員
- ⑤ 国際公務員 ⑥ 政治家 ⑦ 弁護士・裁判官・検察官 ⑧ 税理士・会計士
- ⑨ 建築士 ⑩ 医師 ⑪ 薬剤師 ⑫ 看護師 ⑬ 研究者・大学教員 ⑭ 教員
- ⑮ 司書・学芸員 ⑯ 保育士・幼稚園教諭 ⑰ 翻訳・通訳 ⑱ パイロット
- ⑲ 客室乗務員 ⑳ 放送・出版関係 ㉑ 芸術 ㉒ スポーツ・芸能 ㉓ 農林水産業
- ㉔ 会社・店などの経営 ㉕ 自宅で塾・各種教室など
- ㉖ その他（ ） ㉗ 未定

10. あなたは職業（就職先）を選ぶとき、次の項目をどの程度重視しますか。

- 1 重視する 2 やや重視する 3 あまり重視しない 4 重視しない

(1) 能力・資質が生かせること		101
(2) 専攻分野が生かせること		102
(3) 社会的評価が高いこと		103
(4) 高い収入が得られること		104
(5) 家庭と両立しやすいこと		105
(6) 男女差（性差別）がないこと		106
(7) その他（ ）		107

11. あなたは、将来女性の上司のもとで働くとしたら、そのことに抵抗を感じますか。

 11

- ① 感じる ② やや感じる ③ あまり感じない ④ 感じない

12. 日本における男女平等はどの程度実現していると考えますか？

- 1 男性が優位 2 男女平等 3 女性が優位 4 わからない

(1) 家庭生活		121
(2) 職場		122
(3) 学校教育		123
(4) 政治の場		124
(5) 法律・制度		125
(6) 社会通念・慣習・しきたりなど		126

13. あなたはいずれ結婚しようと考えていますか。

- ① はい ② いいえ ③ わからない

 13

14. あなたが結婚する場合、次の項目をどの程度重視しますか。

(上記13で「いいえ」「わからない」を選んだ人も答えてください)

1 重視する 2 やや重視する 3 あまり重視しない 4 重視しない

(1) 年齢		141
(2) 学歴		142
(3) 職業		143
(4) 家柄		144
(5) 家族構成		145
(6) 経済力		146
(7) 家事・育児能力		147
(8) 容姿		148
(9) 価値観の共通性		149
(10) 自分の職業継続への理解		1410

15. 夫婦間の役割についてあなたの考えに一番近いものを1つ選んでください。

① 夫は仕事、妻は家事・育児に専念する。

15

② 夫は仕事、妻は家事・育児と仕事をする。

③ 夫婦とも仕事を持ち、家事・育児は平等に分担する。

④ 妻は仕事、夫は家事・育児と仕事をする。

⑤ 妻は仕事、夫は家事・育児に専念する。

16. 職業と家庭の両立について、あなた自身と配偶者への希望を1つずつ選んで番号で答えてください。

① 就職はしない

自分 161

② 結婚したら退職する

配偶者 162

③ 子どもが生まれたら退職する

④ 子どもが生まれたら退職し、子どもがある程度大きくなったら再就職する。

⑤ 結婚・子どもにかかわらず、仕事を続ける。

17. 結婚しなくても、幸せな人生を送ることができると思いますか。

17

① そう思う ② ややそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない

18. 男女が希望すればそれぞれ結婚前の姓を名乗る「別姓による結婚」が法的に認められるべきである
と思いますか。

18

① そう思う ② ややそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない

あなた自身について教えてください

19. あなたの学年は？ ① 1年 ② 2年 ③ 3年

 19

20. あなたの性別は？ ① 女 ② 男

 20

21. あなたの出身中学校は？ ① 附属中学校 ② 公立中学校
③ 他の私立中学校 ④ その他 ()

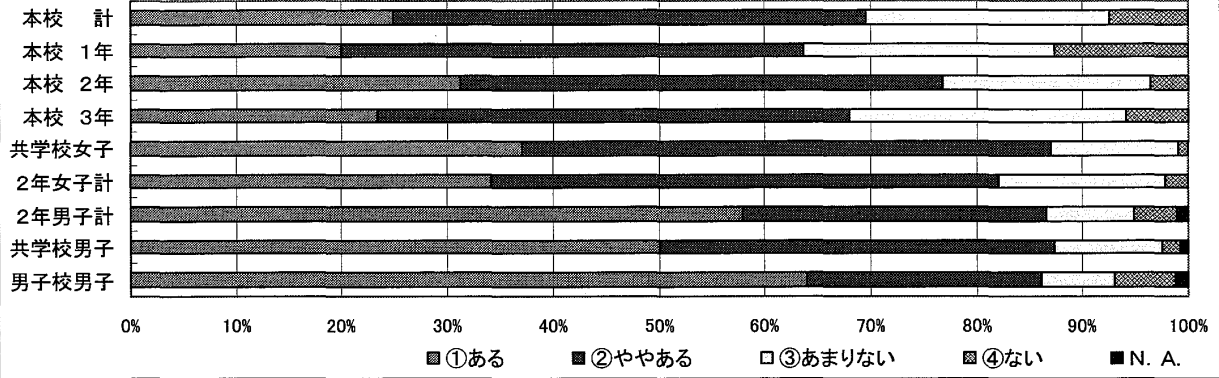
 21

22. あなたのお母さんの経歴について教えてください。

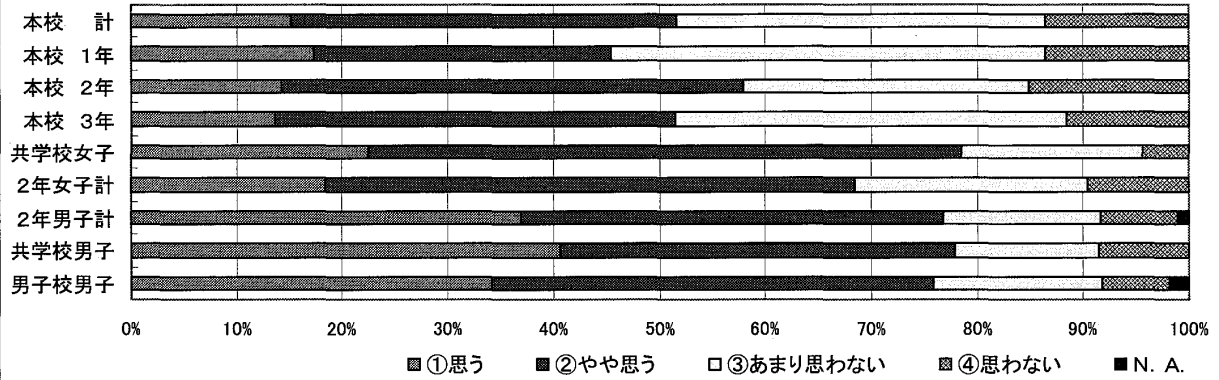
 22

- ① 就職経験なし
- ② 結婚・出産で退職、家庭に専念
- ③ 結婚・出産等で中断後、パートタイムで再就職
- ④ 結婚・出産等で中断後、フルタイムで再就職
- ⑤ 学校卒業後の職業を継続
- ⑥ その他 ()

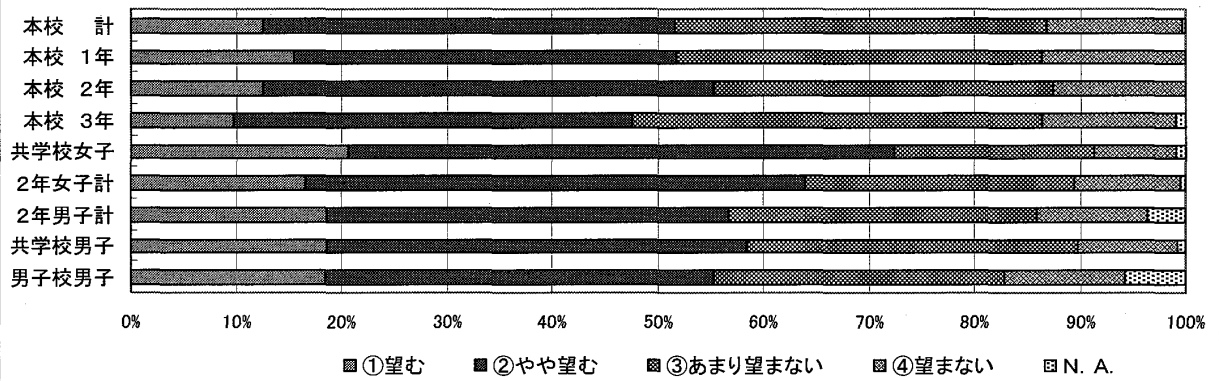
1. あなたは、普段、「女」「男」の違いを意識することがありますか？



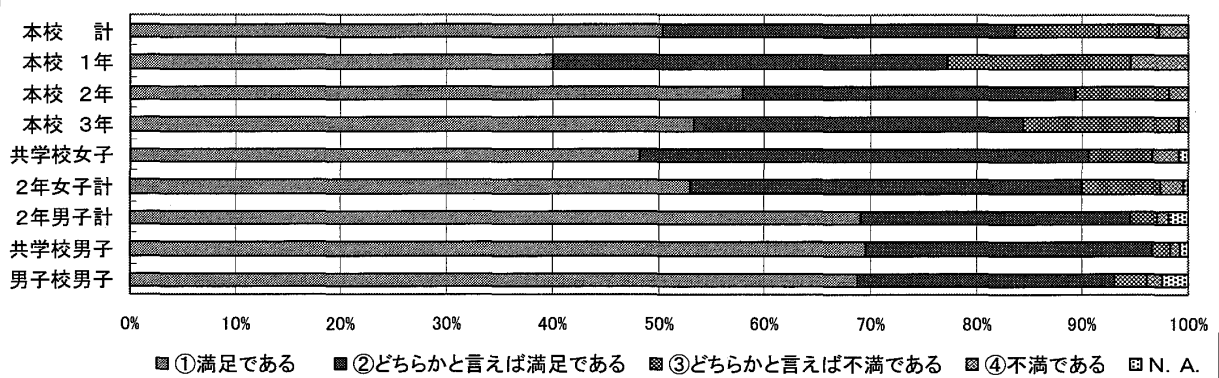
2. あなたが女性なら、「女らしく」、あなたが男性なら、「男らしく」ありたいと思いますか？



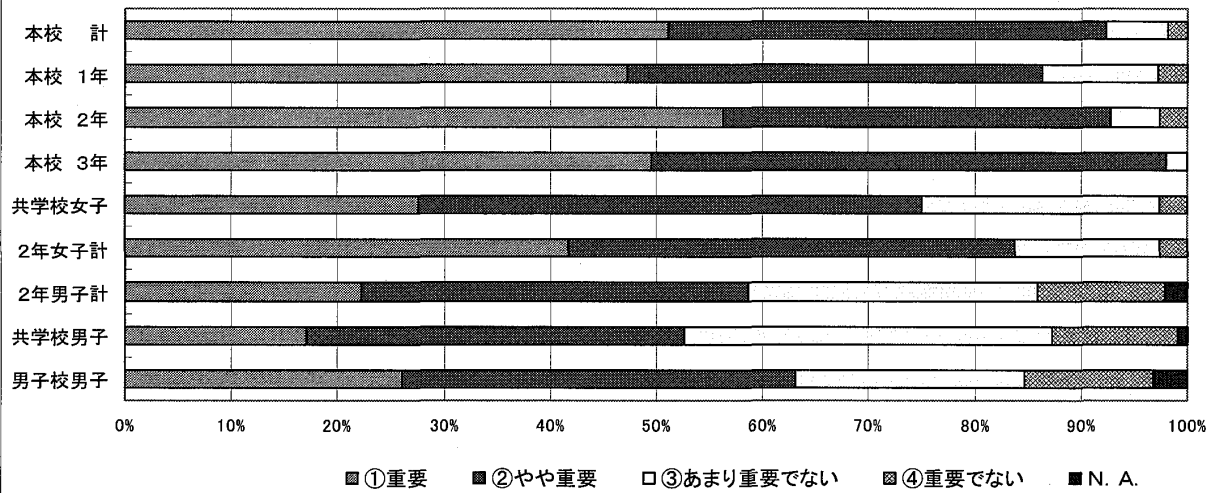
3. あなたの保護者は、あなたに、「女らしく」「男らしく」あって欲しいと望んでいますか？



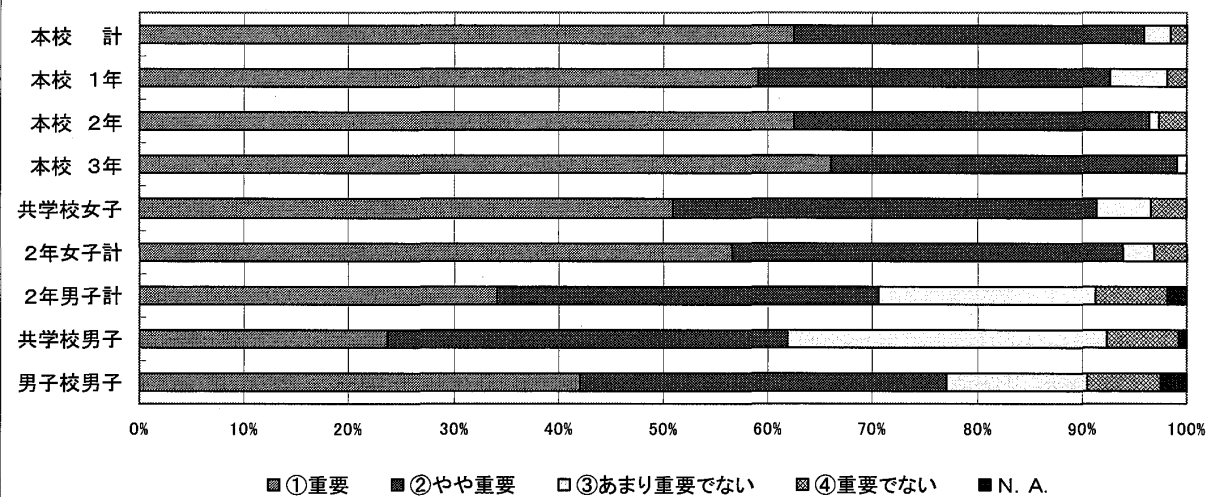
4. 今の性別に満足していますか？



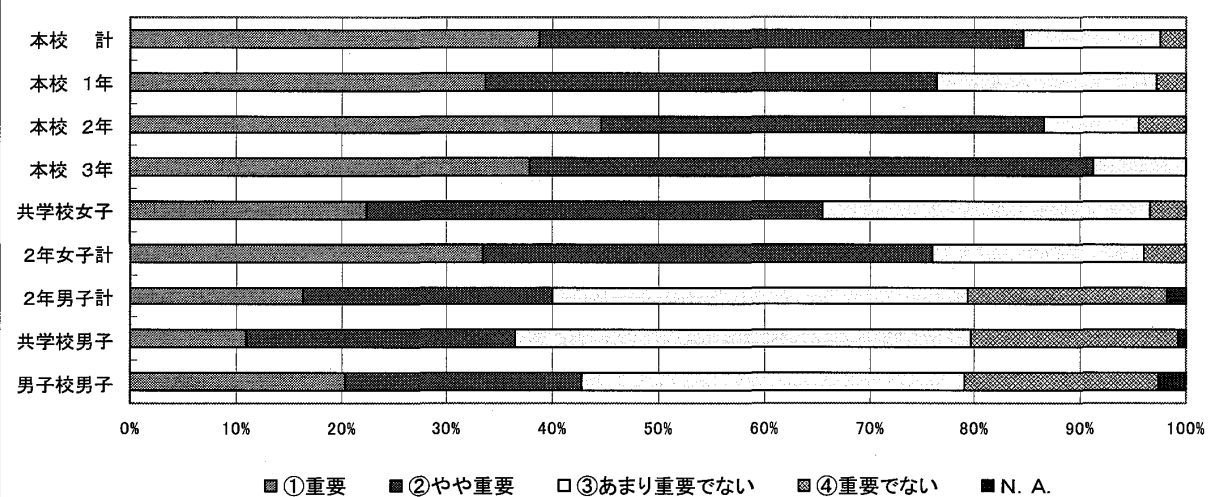
5 A 理想とする女性の条件として (1)積極性と発言力



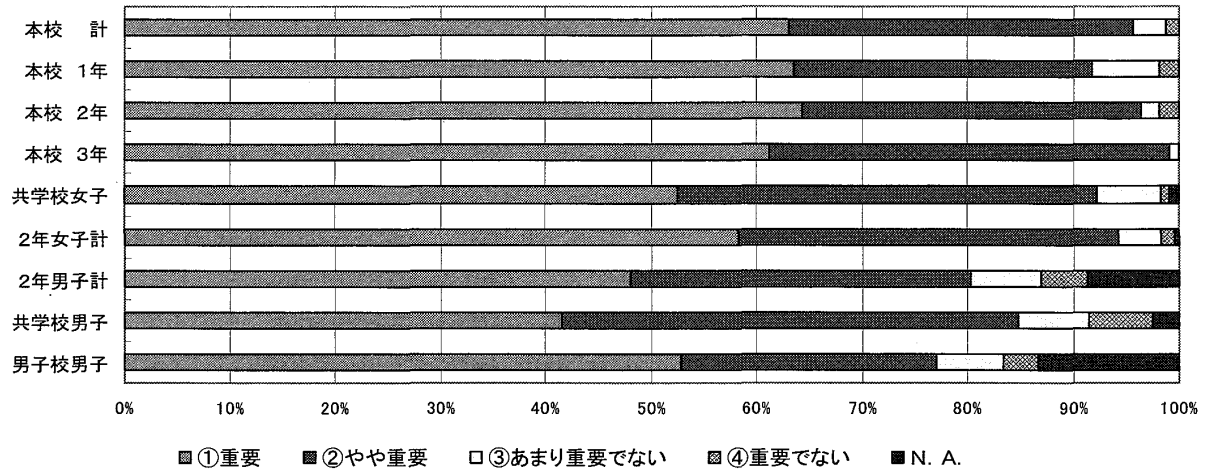
5 A 理想とする女性の条件として (2)論理性・判断力



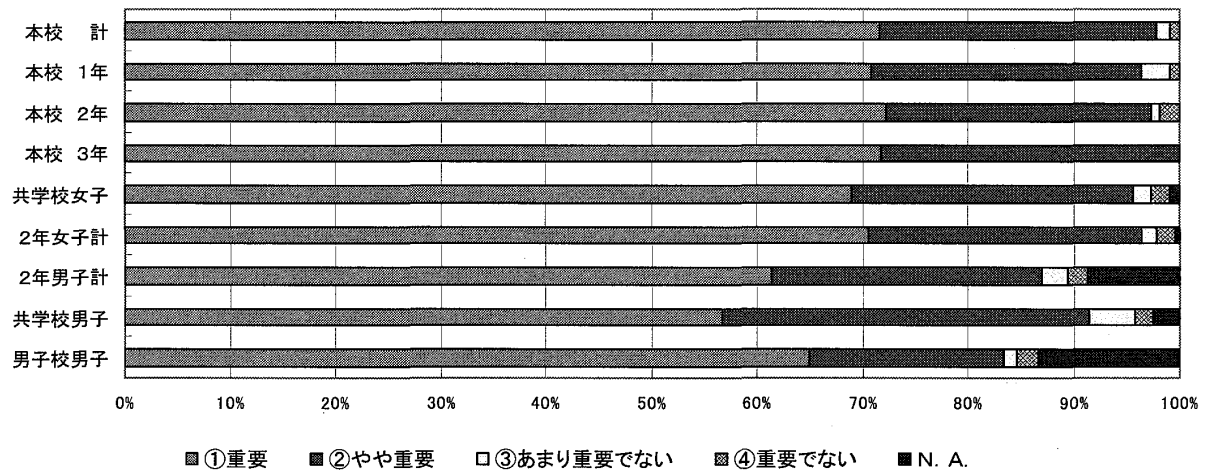
5 A 理想とする女性の条件として (3)リーダーシップ



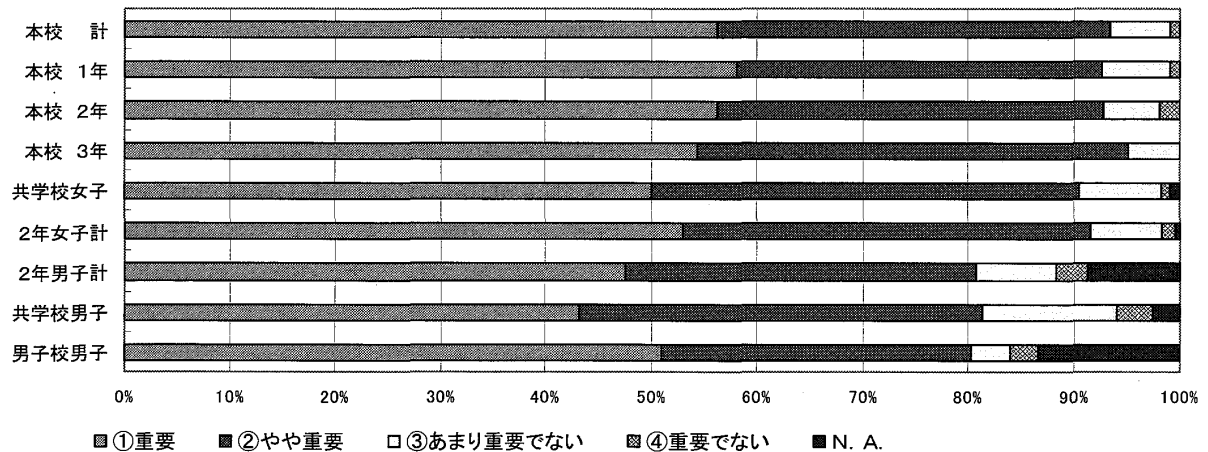
5 B 理想とする男性の条件として (1)積極性と発言力



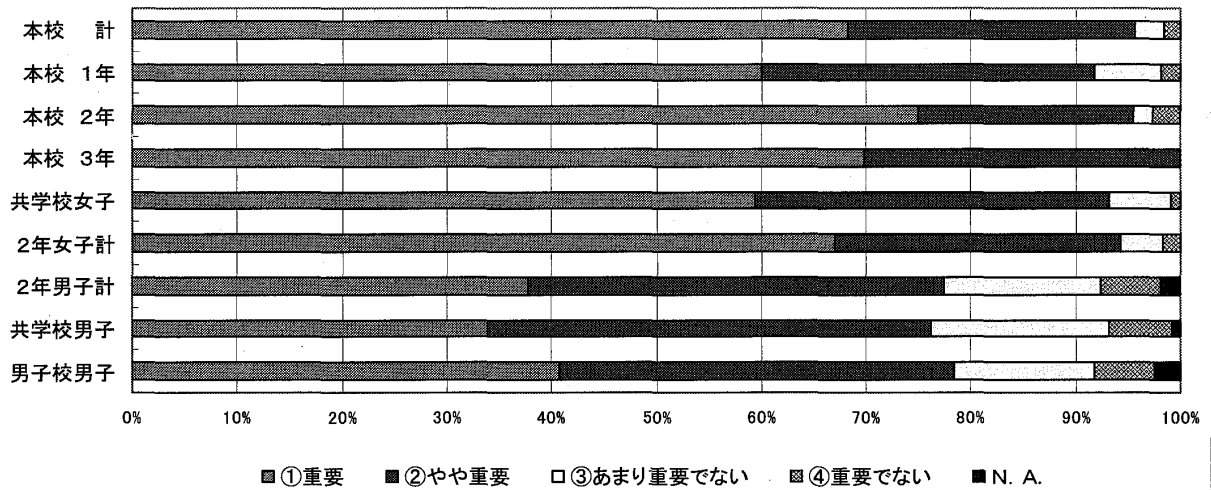
5 B 理想とする男性の条件として (2)論理性・判断力



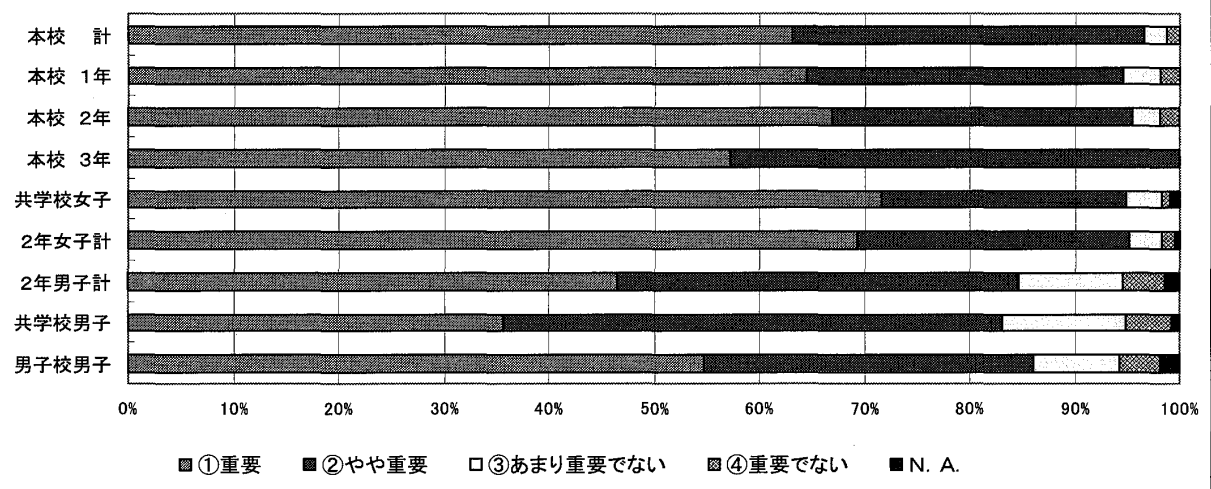
5 B 理想とする男性の条件として (3)リーダーシップ



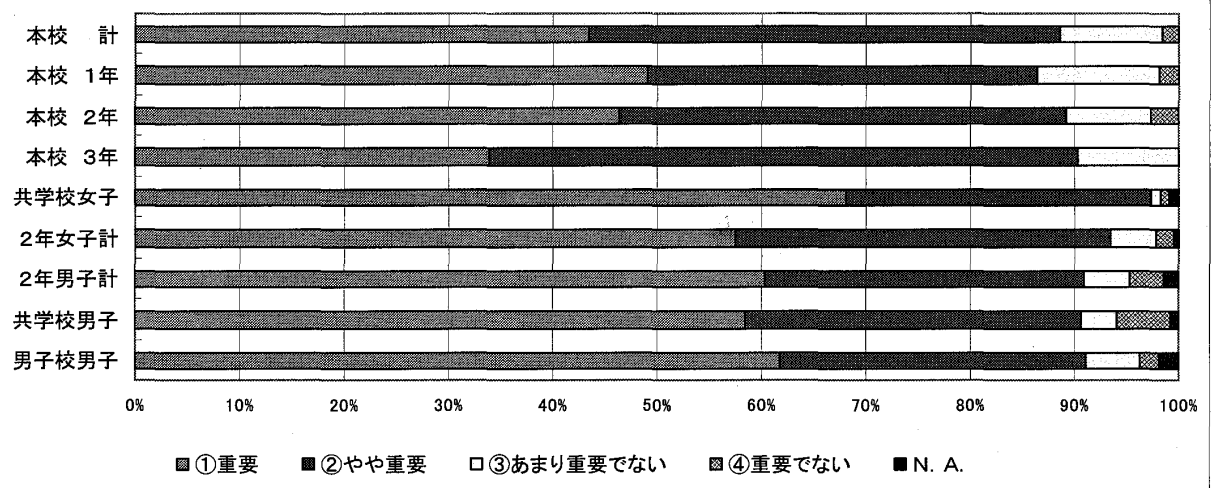
5 A 理想とする女性の条件として (4) 責任感



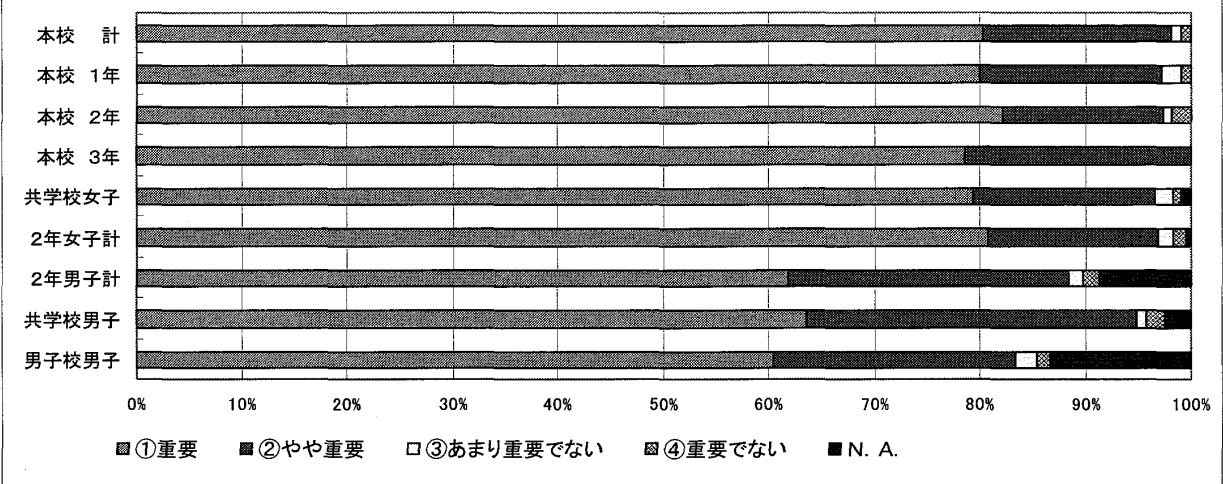
5 A 理想とする女性の条件として (5) 知識・教養



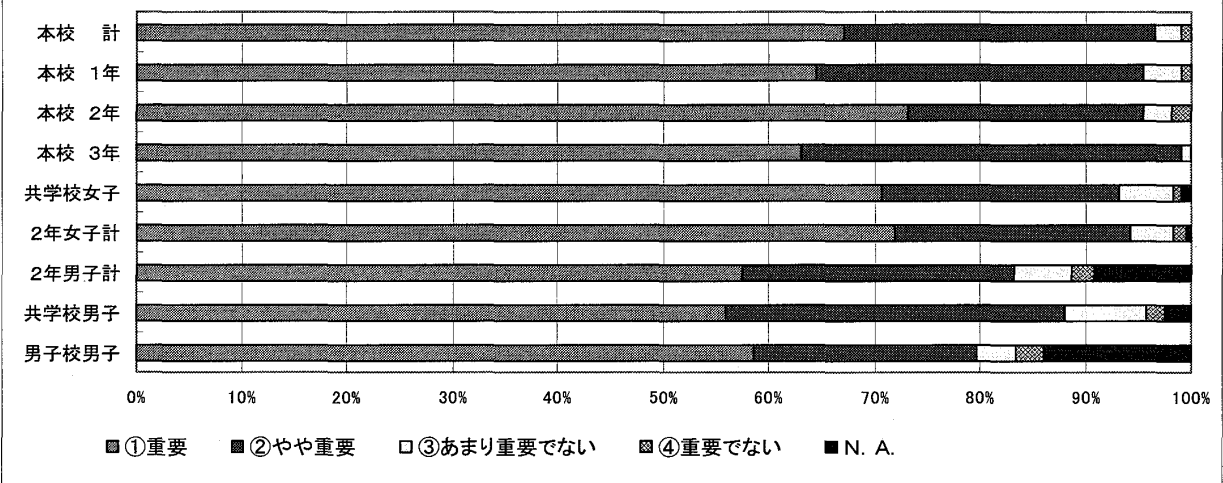
5 A 理想とする女性の条件として (6) 家事・育児能力



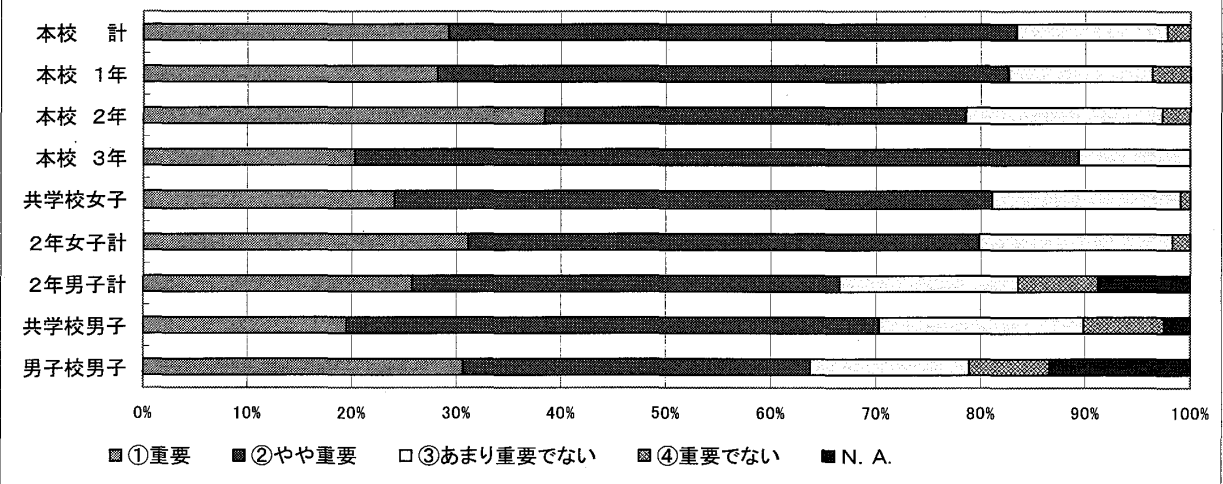
5 B 理想とする男性の条件として (4) 責任感



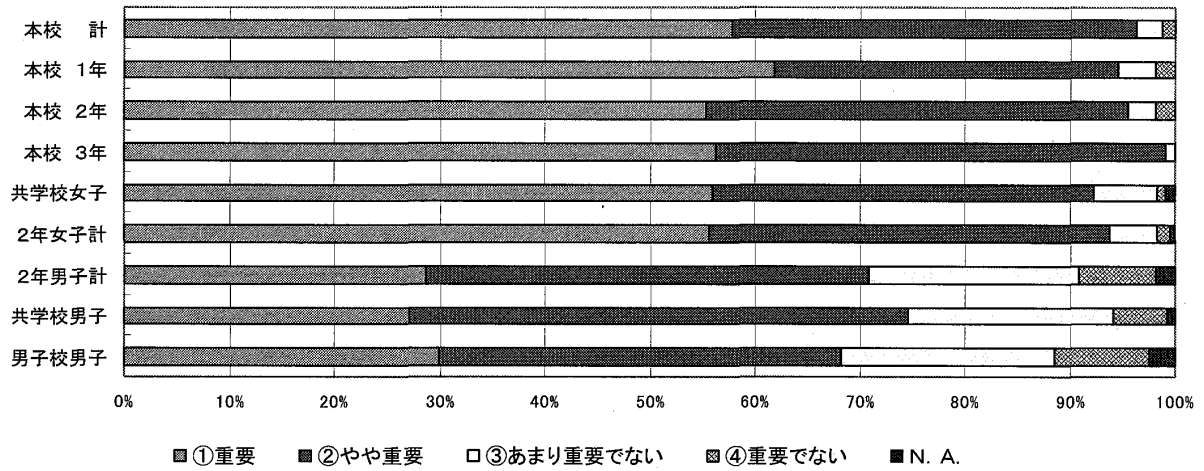
5 B 理想とする男性の条件として (5) 知識・教養



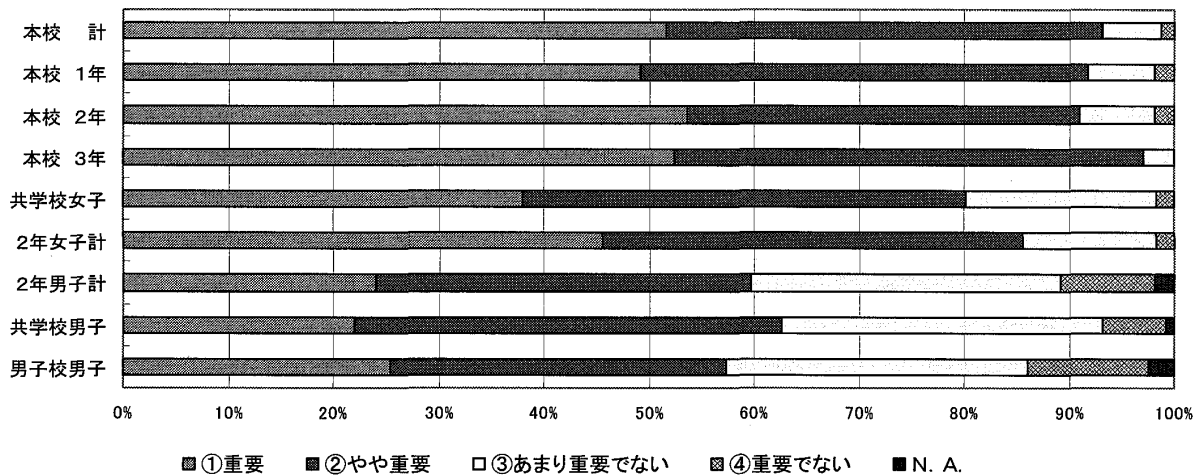
5 B 理想とする男性の条件として (6) 家事・育児能力



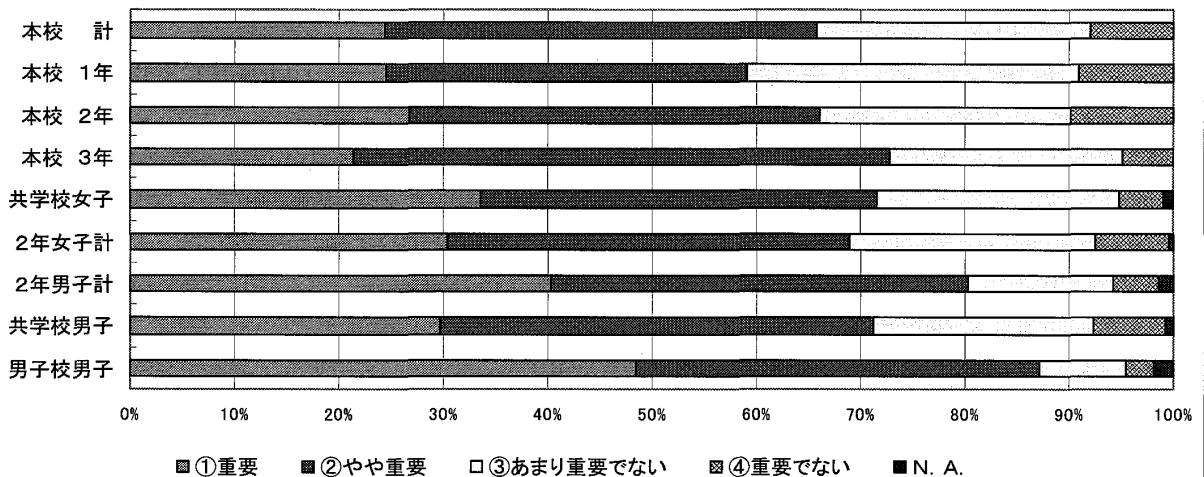
5 A 理想とする女性の条件として (7)仕事の能力



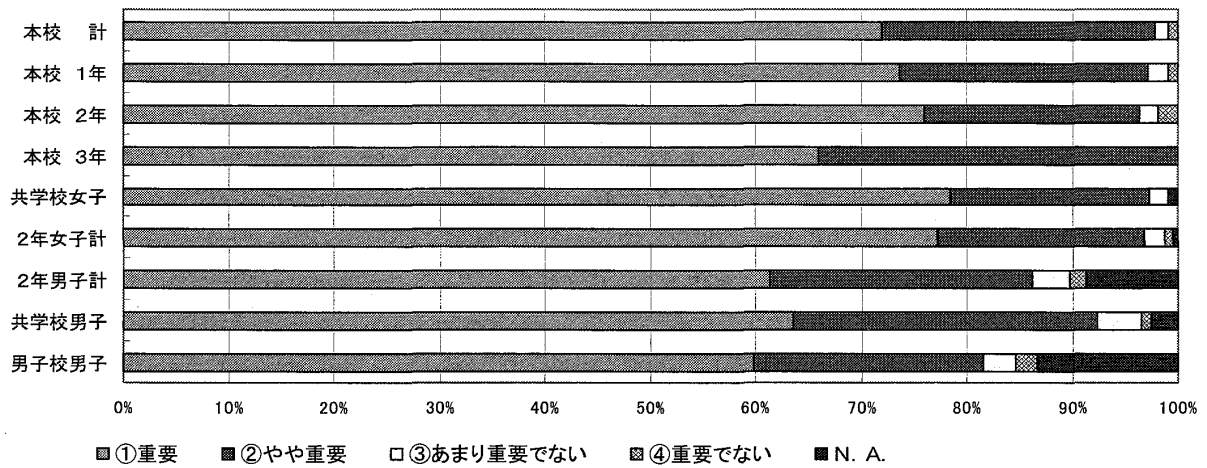
5 A 理想とする女性の条件として (8)経済的な自立



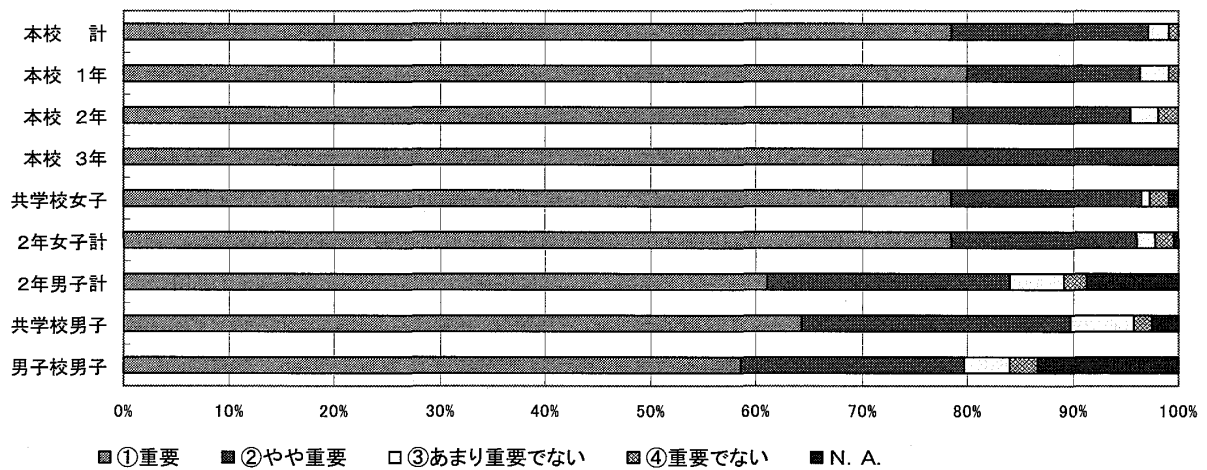
5A 理想とする女性の条件として (9)容姿や体格がよいこと



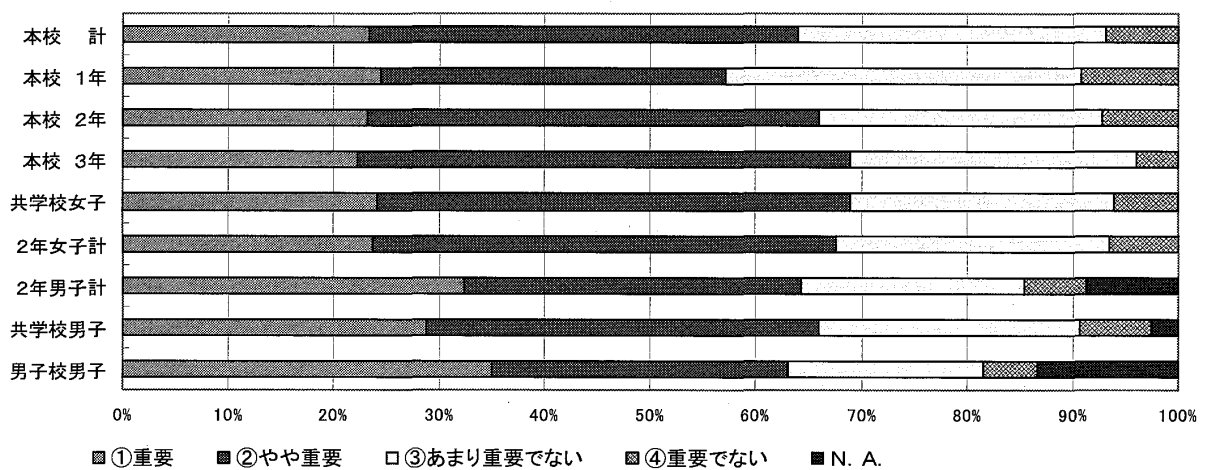
5 B 理想とする男性の条件として (7)仕事の能力



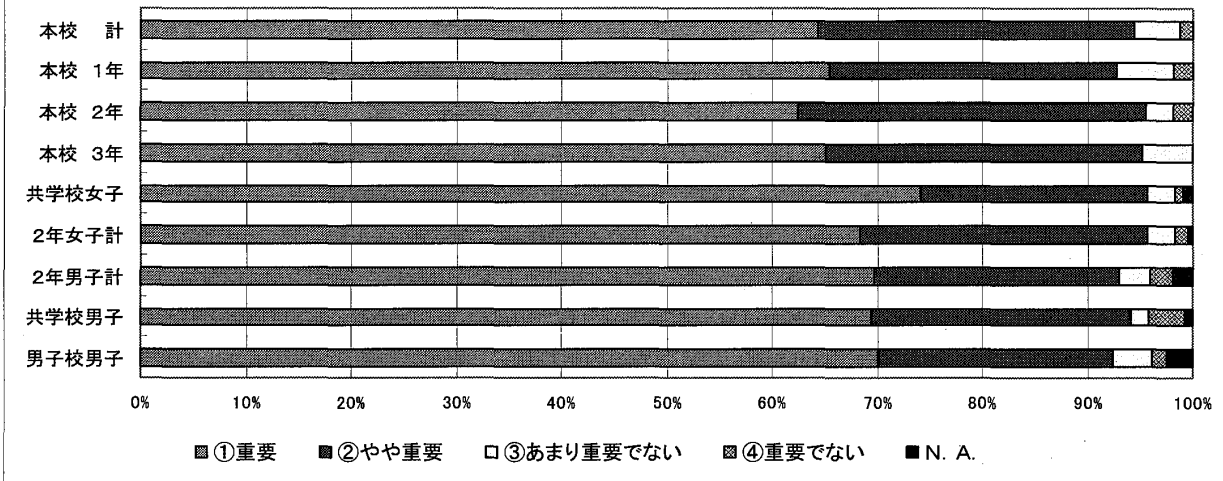
5 B 理想とする男性の条件として (8)経済的な自立



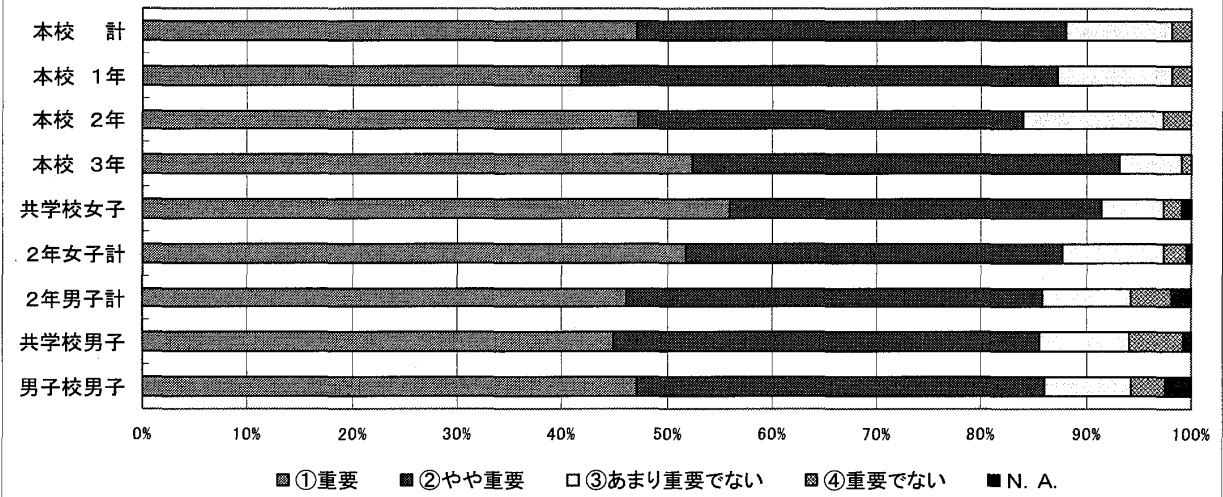
5 B 理想とする男性の条件として (9)容姿や体格がよいこと



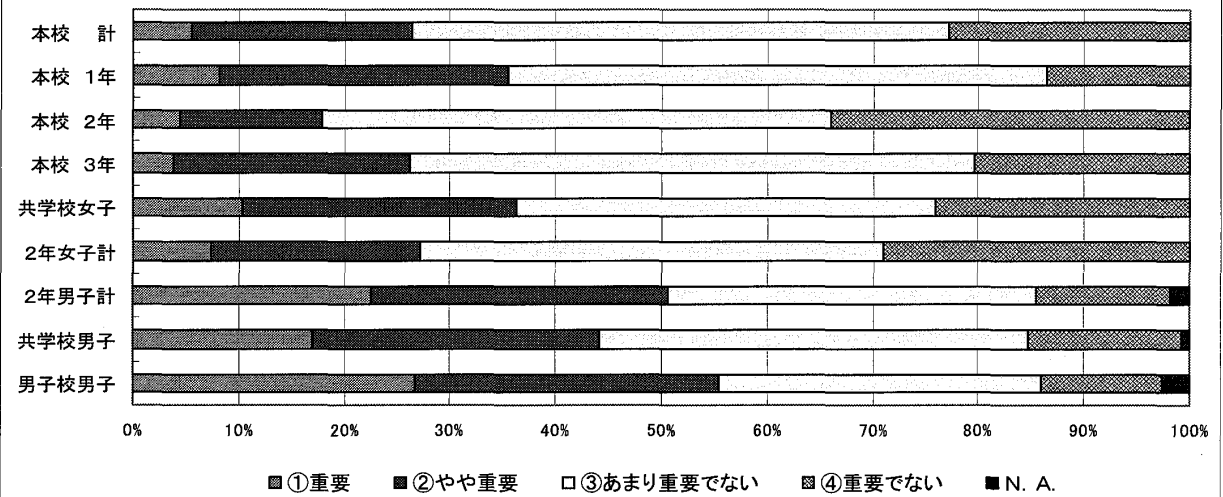
5A 理想とする女性の条件として (10) 気持ちのやさしさや協調性



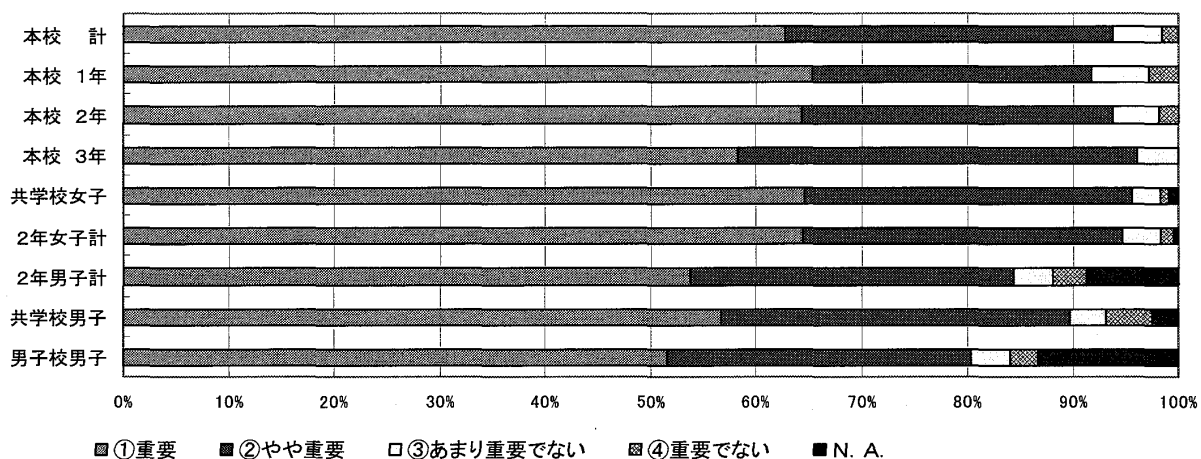
5A 理想とする女性の条件として (11) 明るい性格



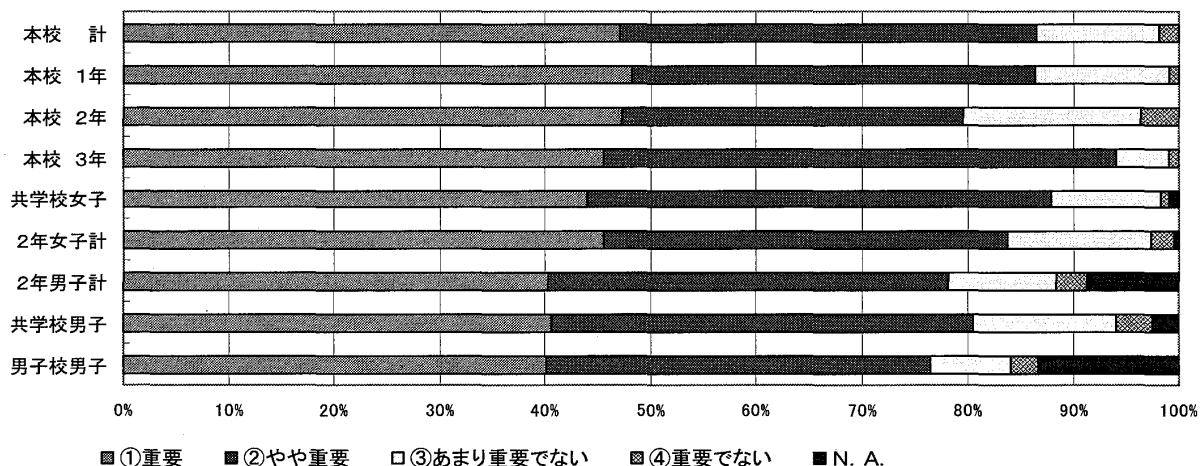
5A 理想とする女性の条件として (12) 控えめでおとなしい



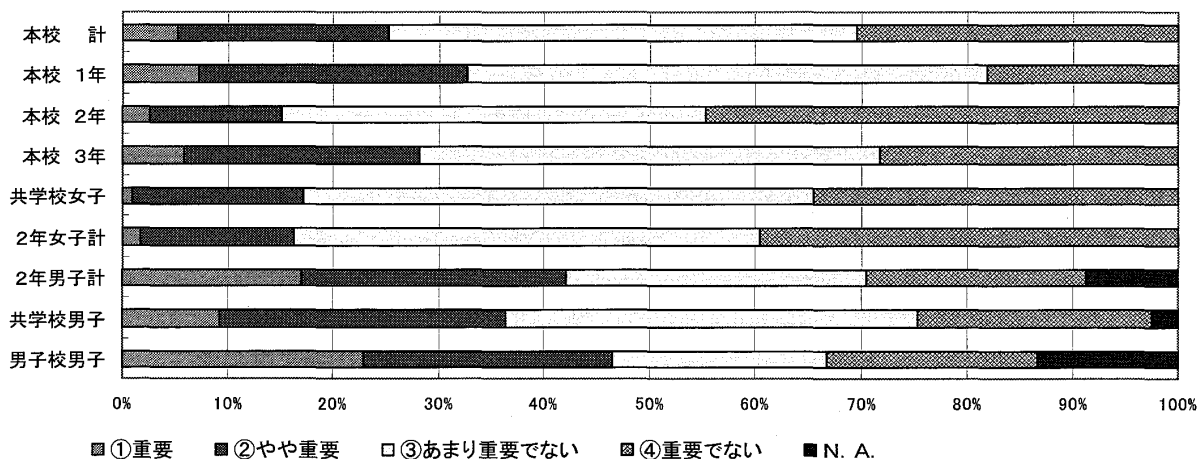
5 B 理想とする男性の条件として (10) 気持ちのやさしさや協調性



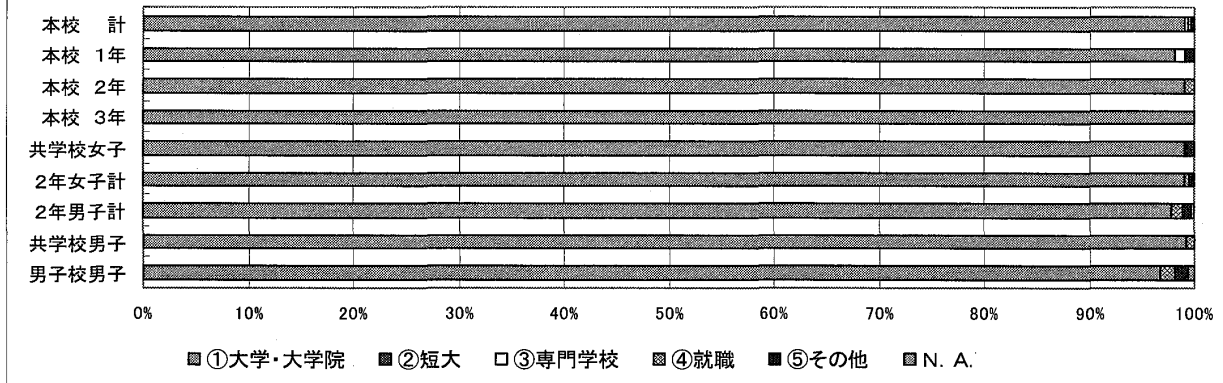
5 B 理想とする男性の条件として (11) 明るい性格



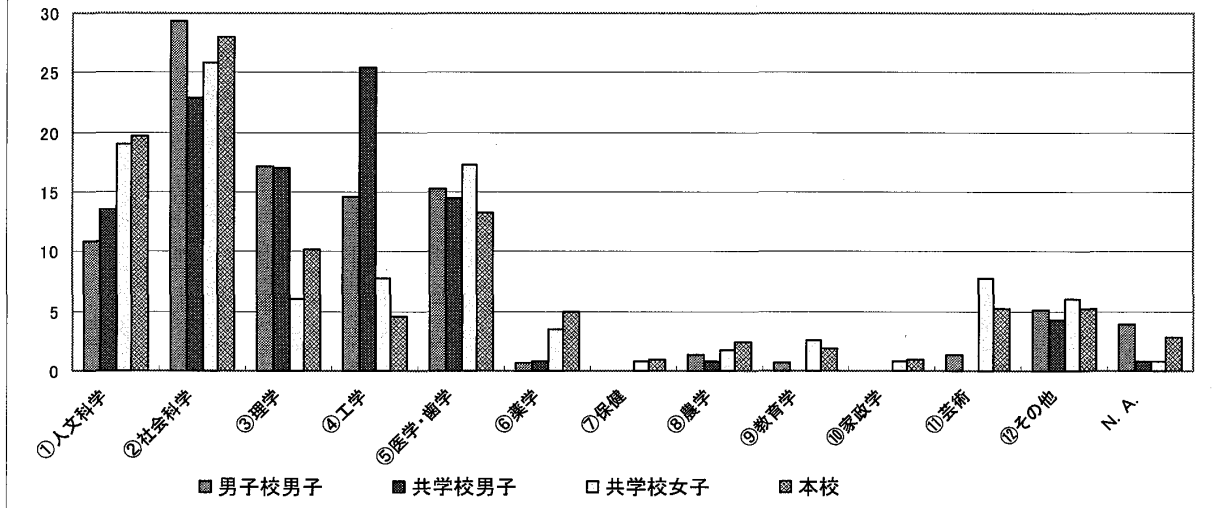
5 B 理想とする男性の条件として (12) 控えておとなしい



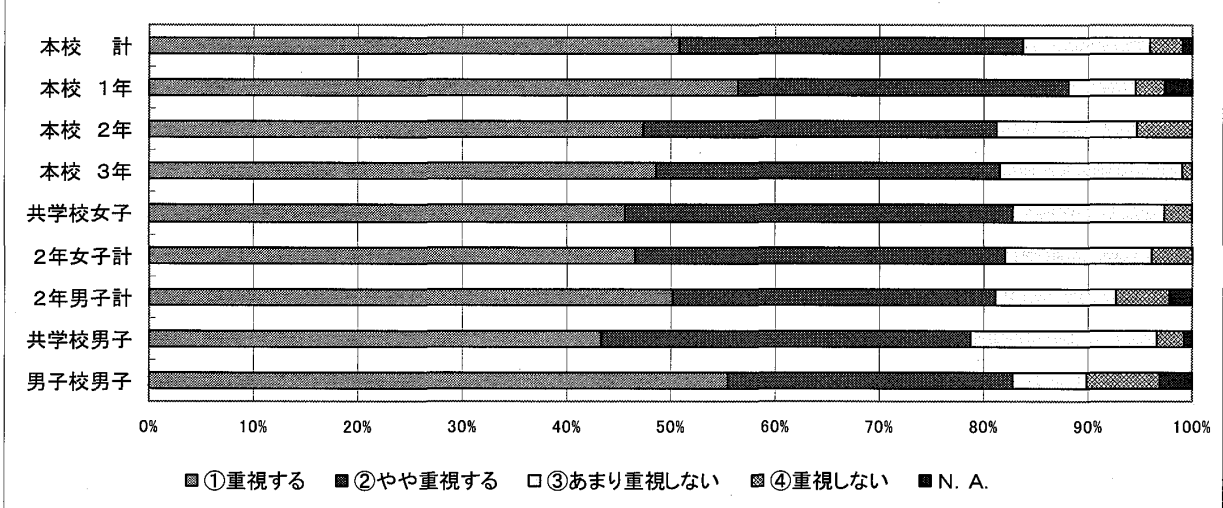
6. あなたの高校卒業後の進路として希望しているものはどれですか。



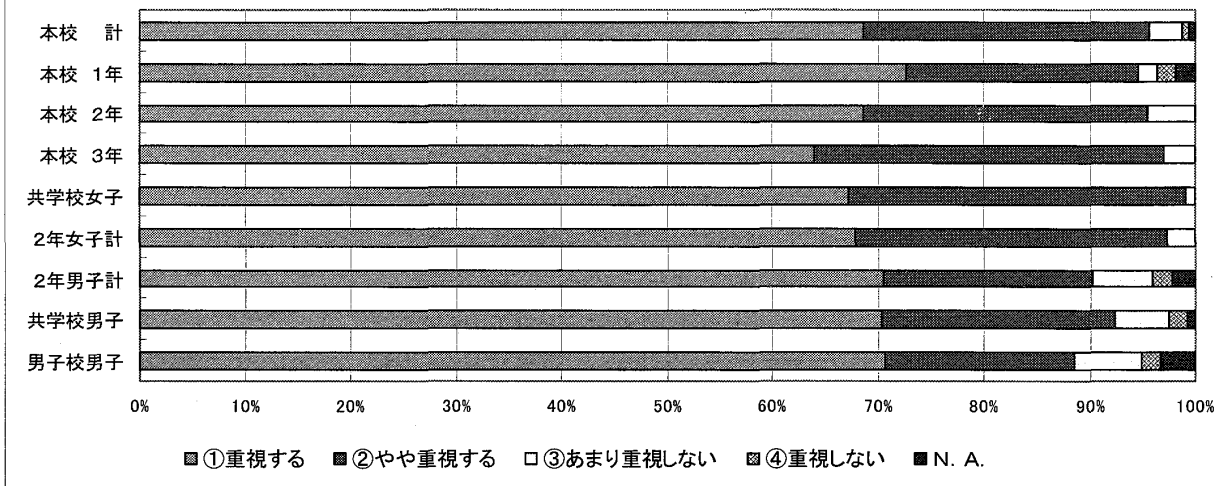
7. 進学を希望する人は、現段階でどのような専攻分野を希望していますか。



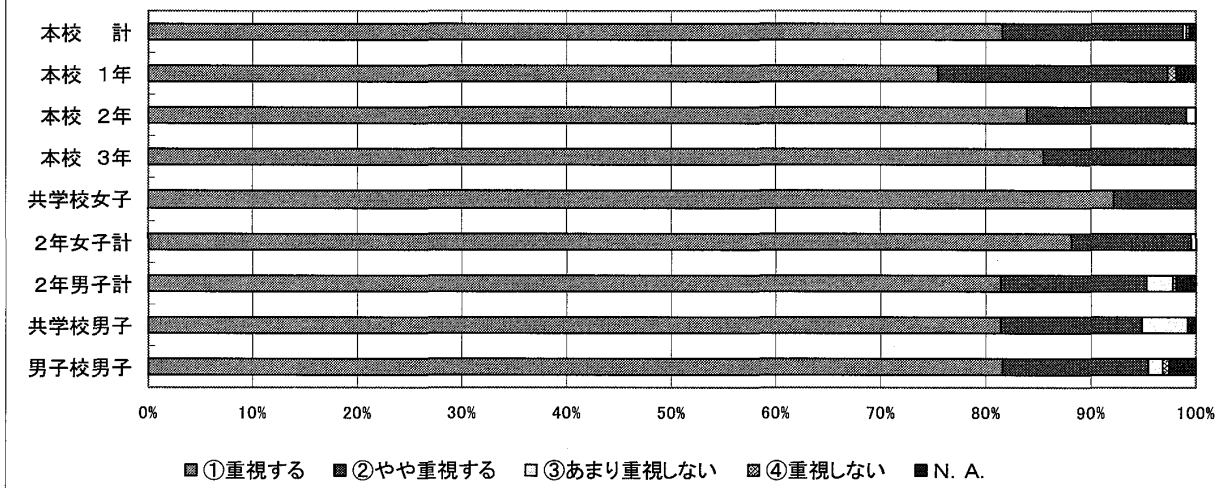
8 専攻決定 (1) 専門職に就くための資格・技能・知識が得られること



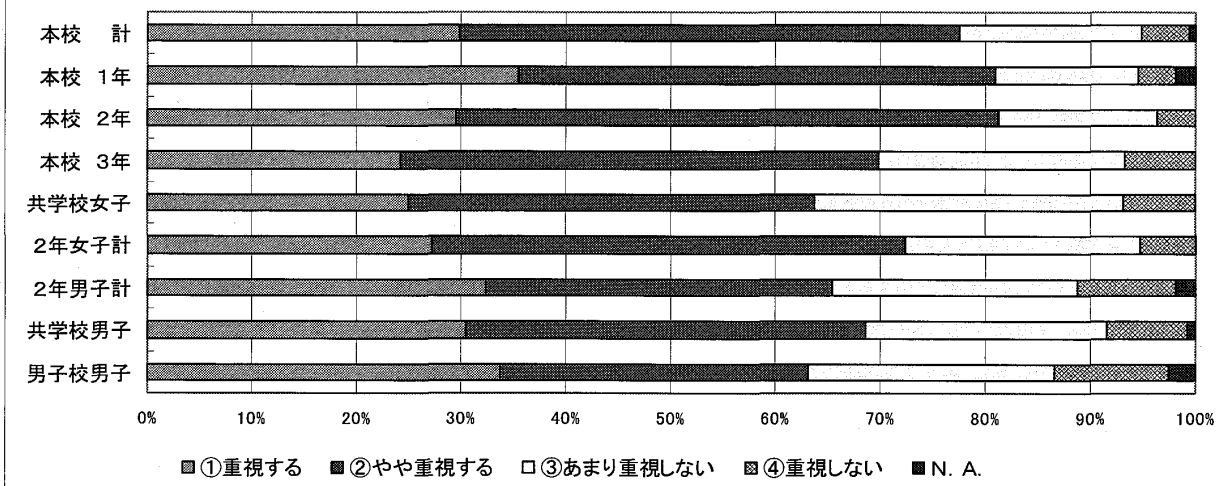
8 専攻決定 (2) 自分の適性にあった分野



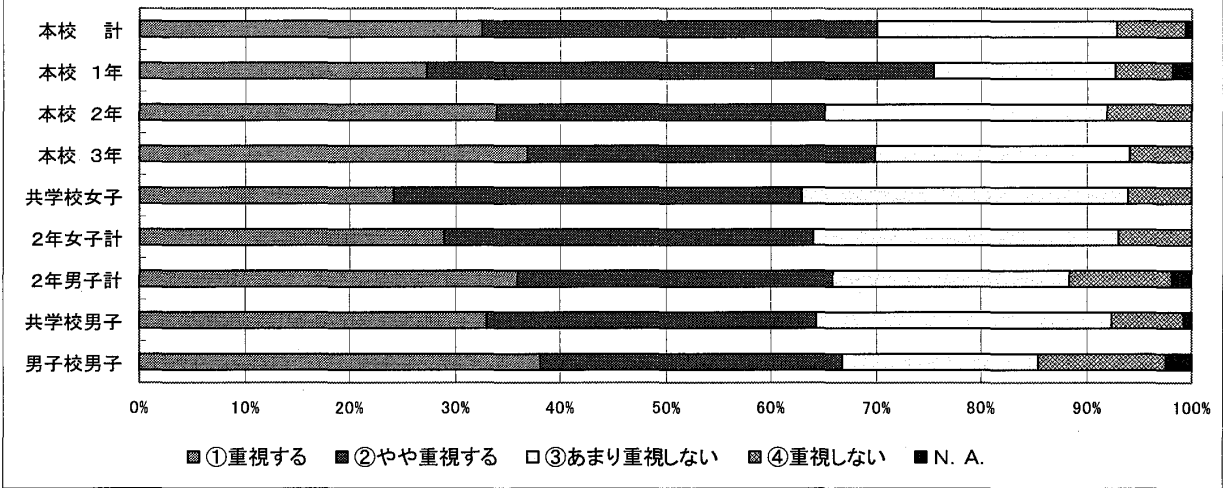
8 専攻決定 (3) 自分の好みにあった分野



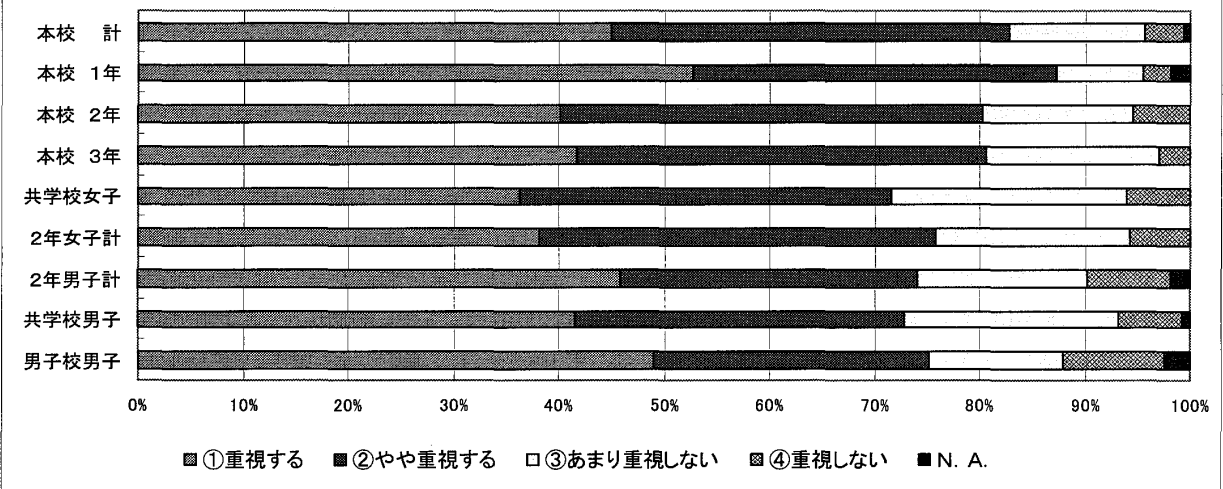
8 専攻決定 (4) 就職に有利な分野



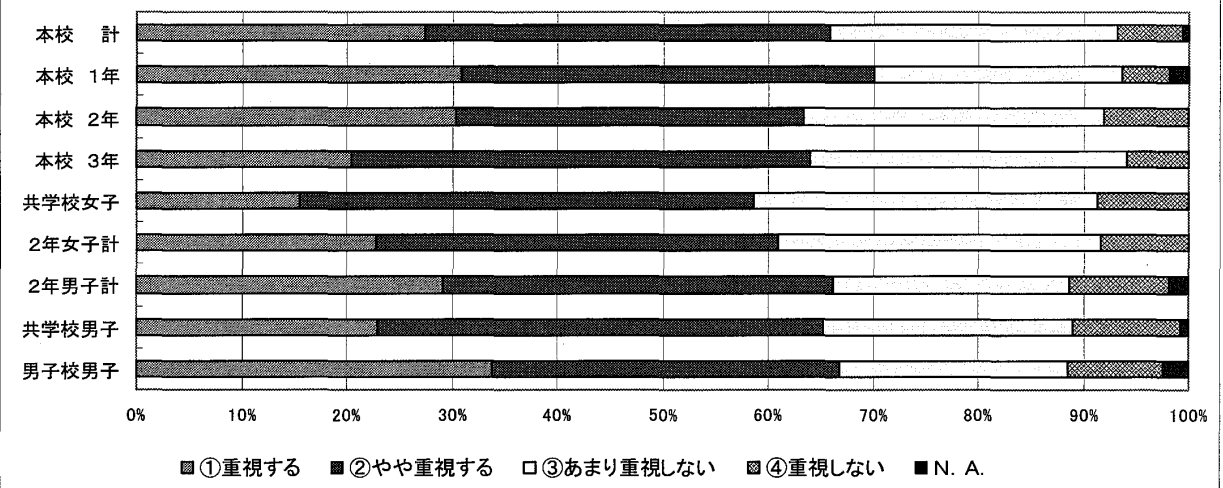
8 専攻決定(5) 社会の役に立つ分野



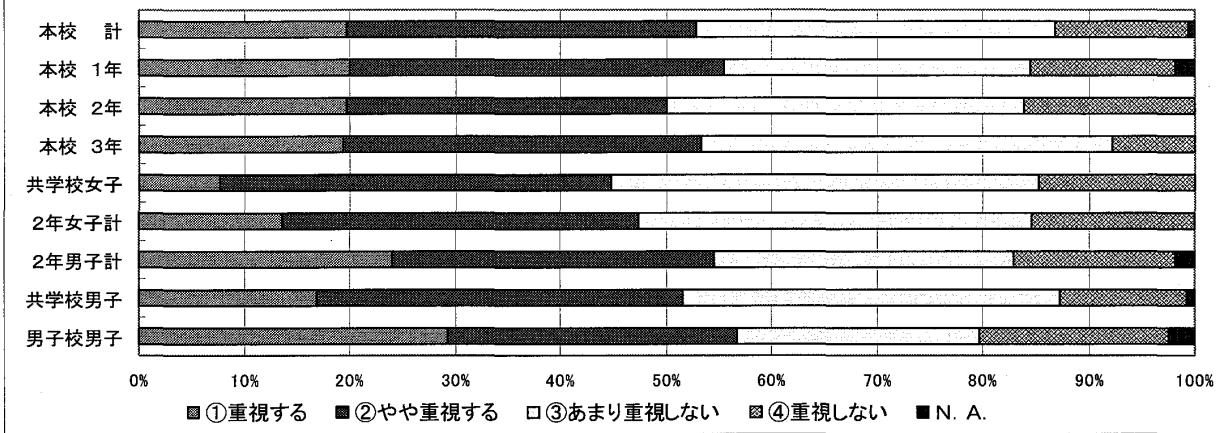
8 専攻決定(6) 一生続けられる職業につける分野



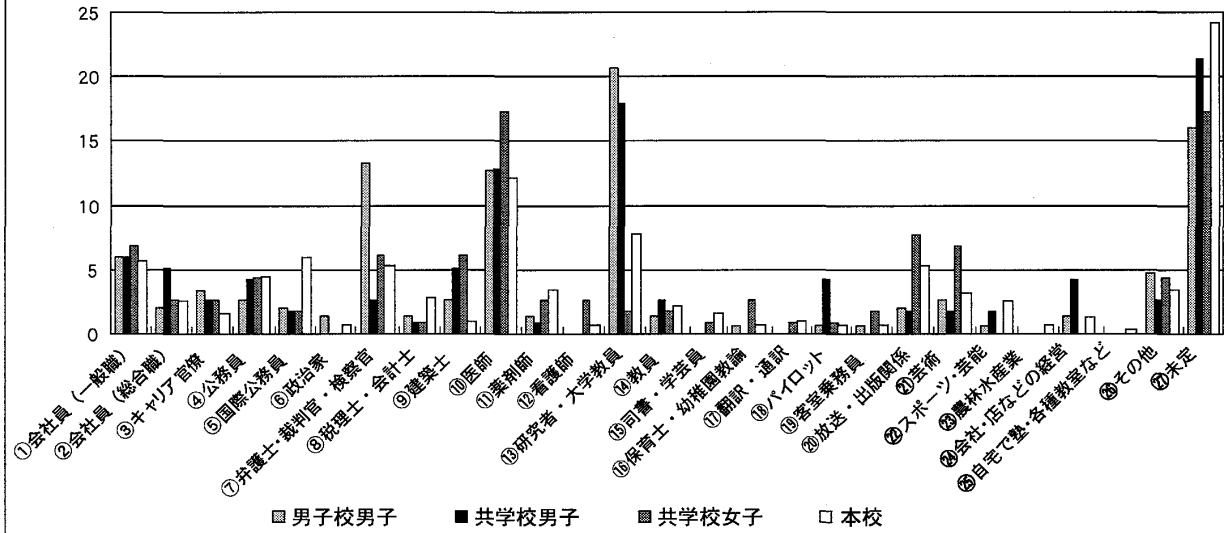
8 専攻決定(7) 高い収入を得られる職業につける分野



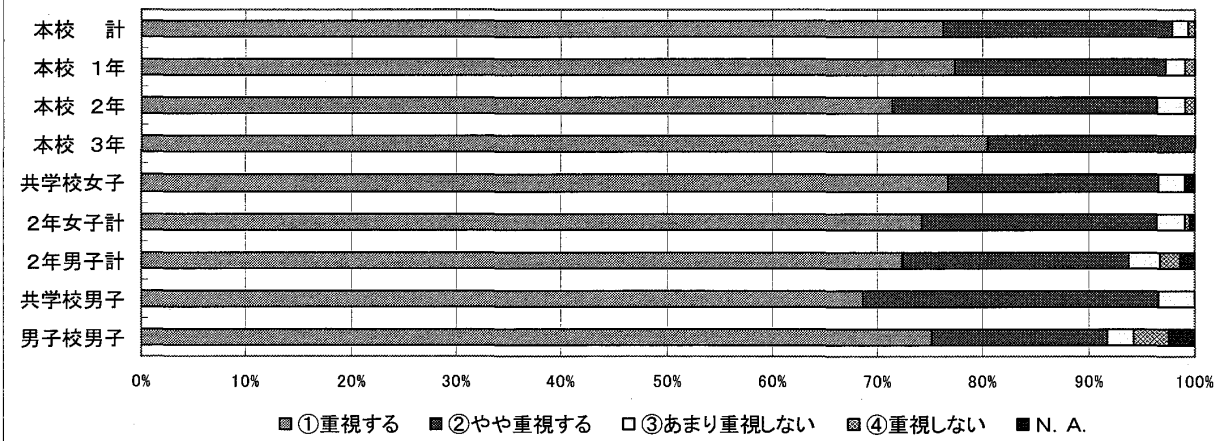
8 専攻決定(8)社会的地位の高い職業につける分野



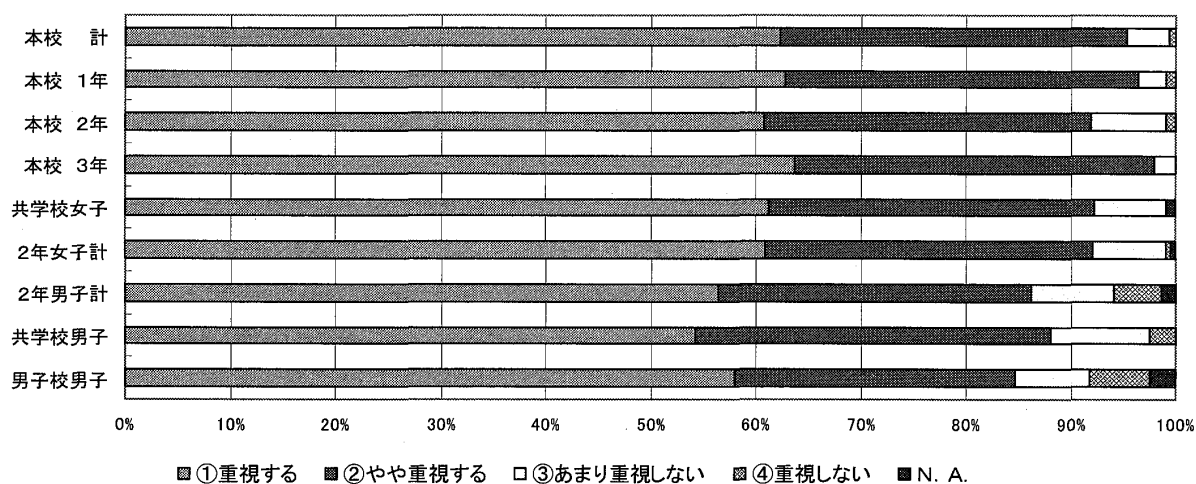
9. 将来どのような職業に就くことを希望しますか。



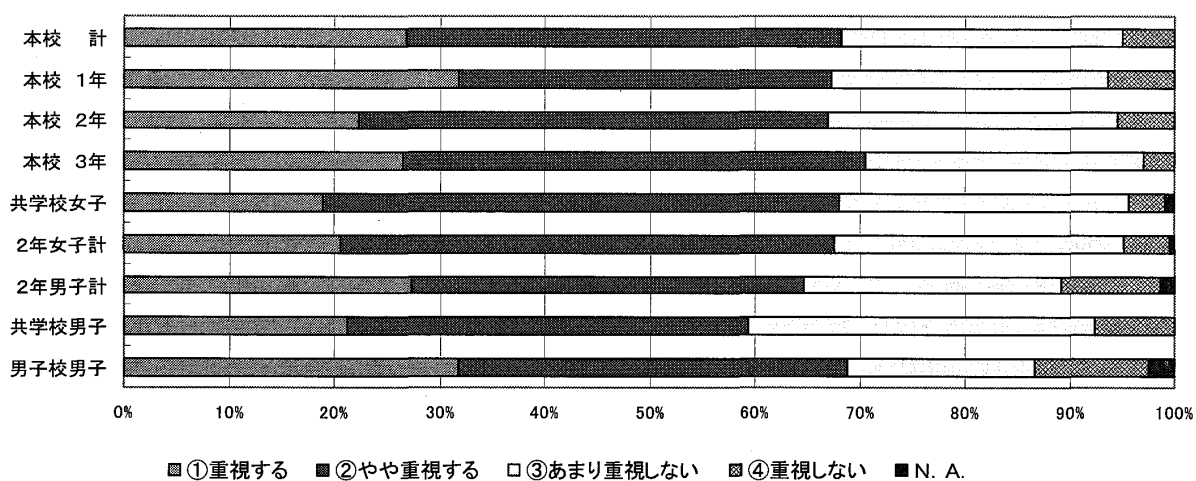
10 職業選択(1)能力・資質が生かせること



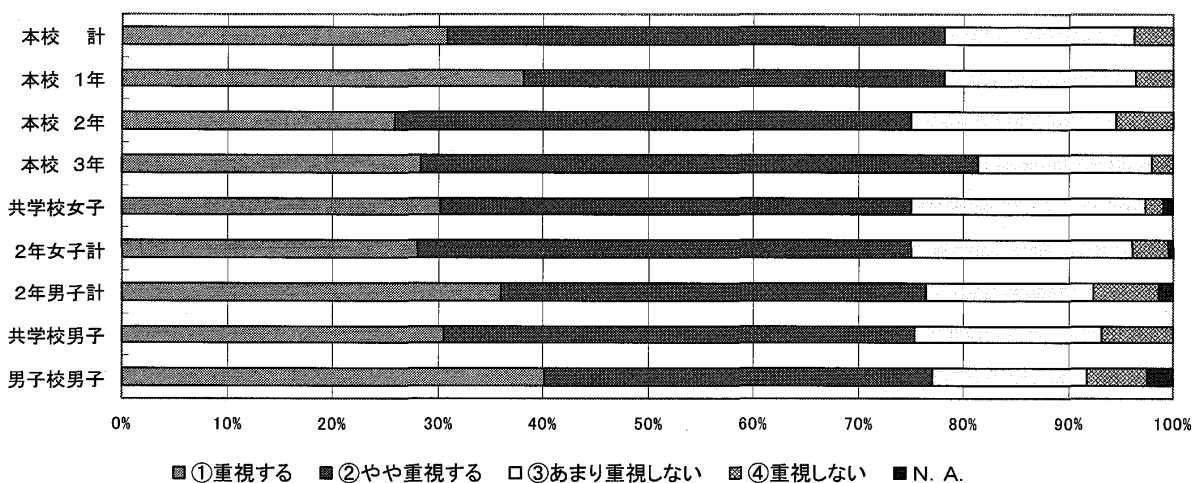
10 職業選択 (2) 専攻分野が生かせること



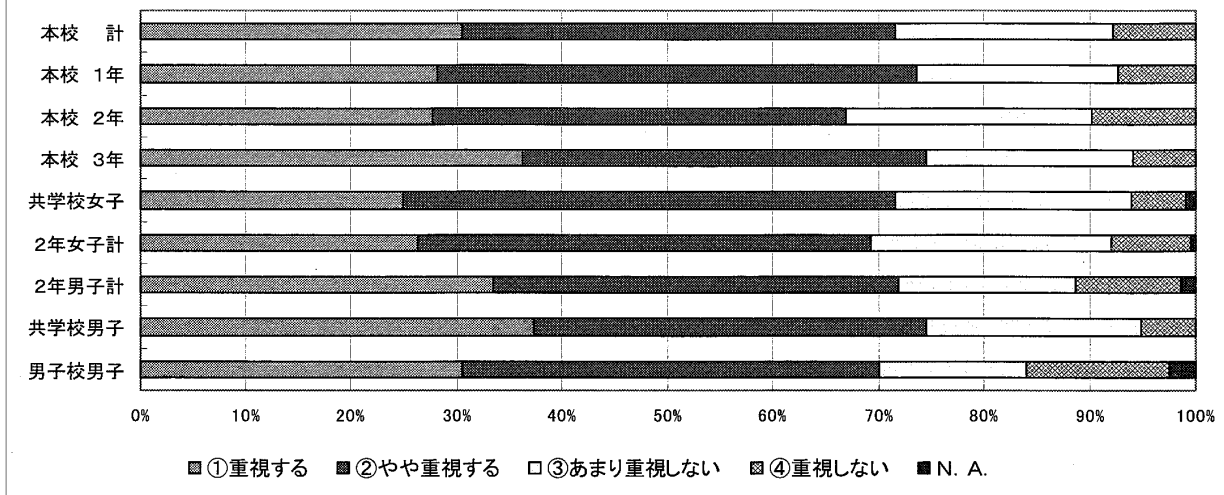
10 職業選択 (3) 社会的評価が高いこと



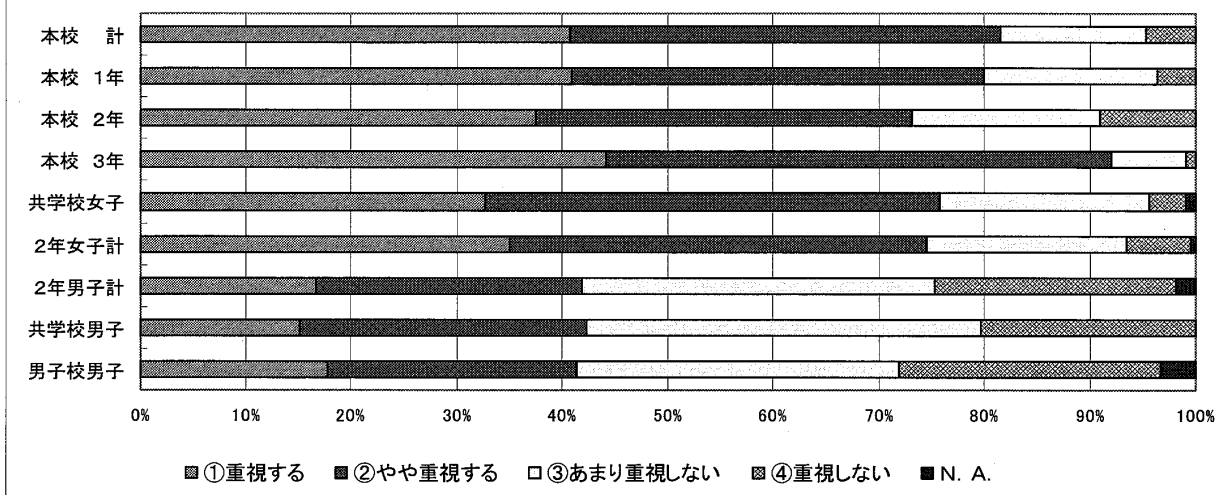
10 職業選択 (4) 高い収入が得られること



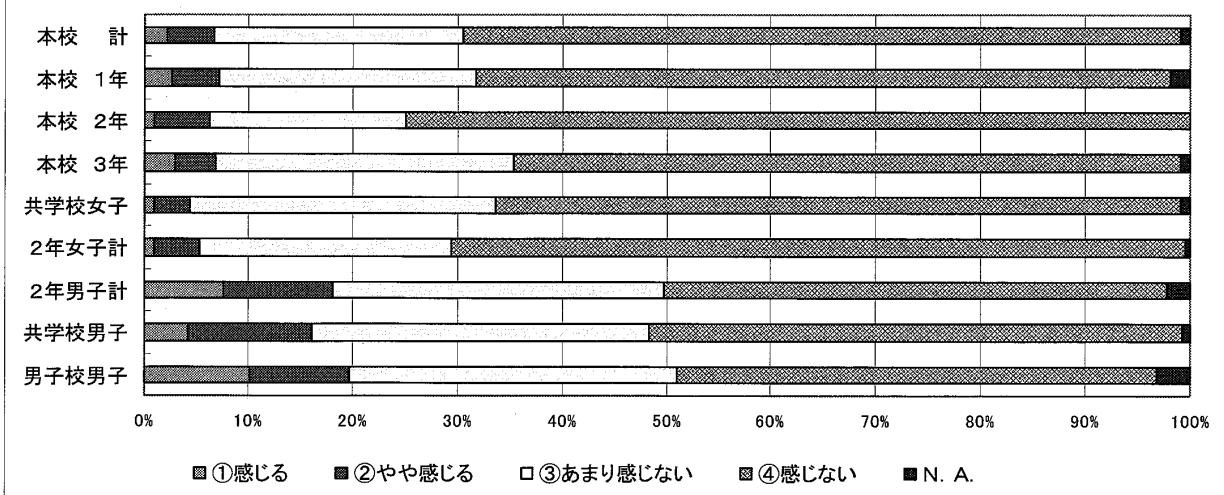
10 職業選択 (5) 家庭と両立しやすいこと



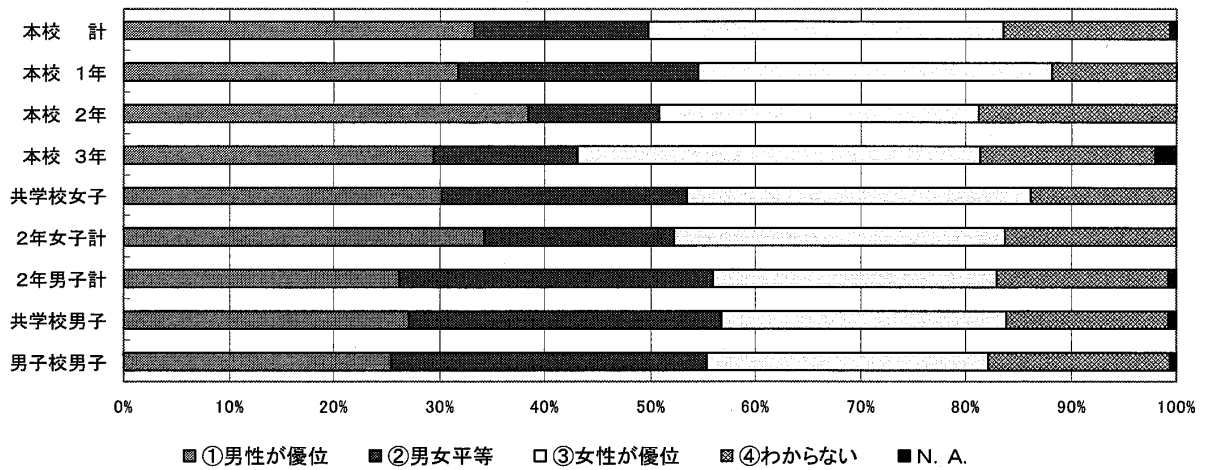
10 職業選択 (6) 男女差(性差別)がないこと



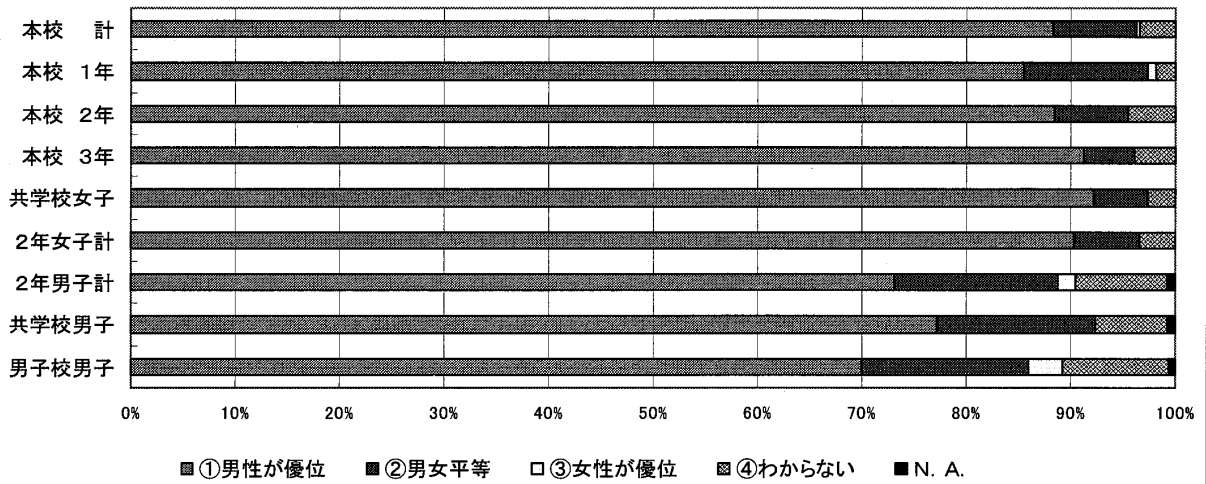
11. あなたは、将来女性の上司のもとで働くとしたら、そのことに抵抗を感じますか



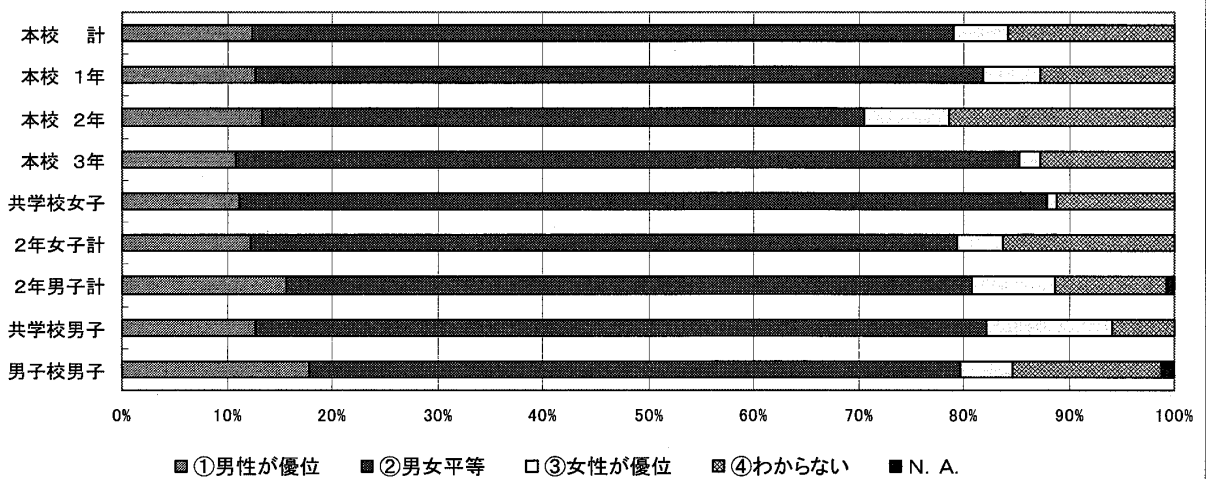
12 日本における男女平等 (1)家庭生活



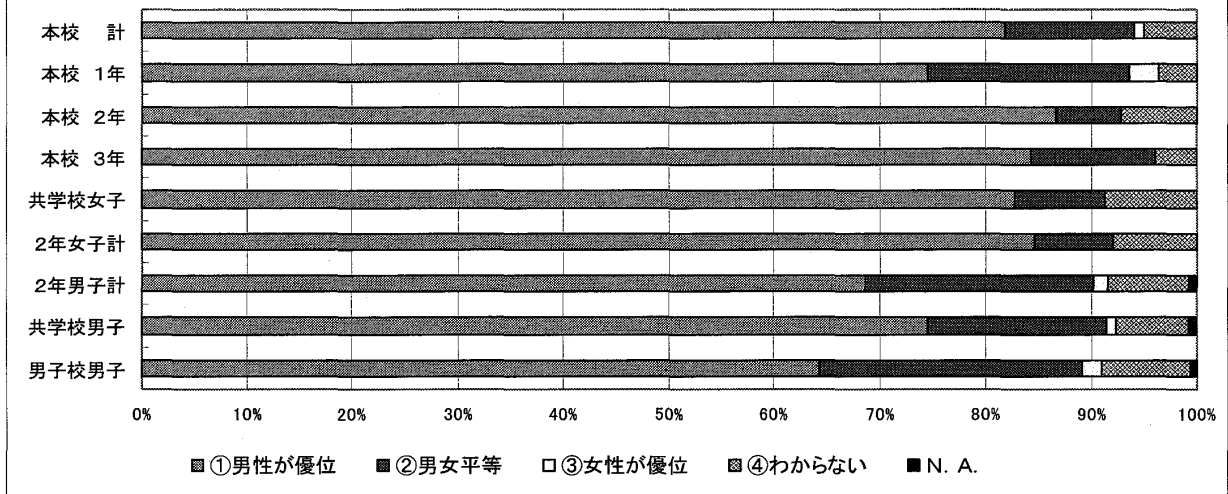
12 日本における男女平等 (2)職場



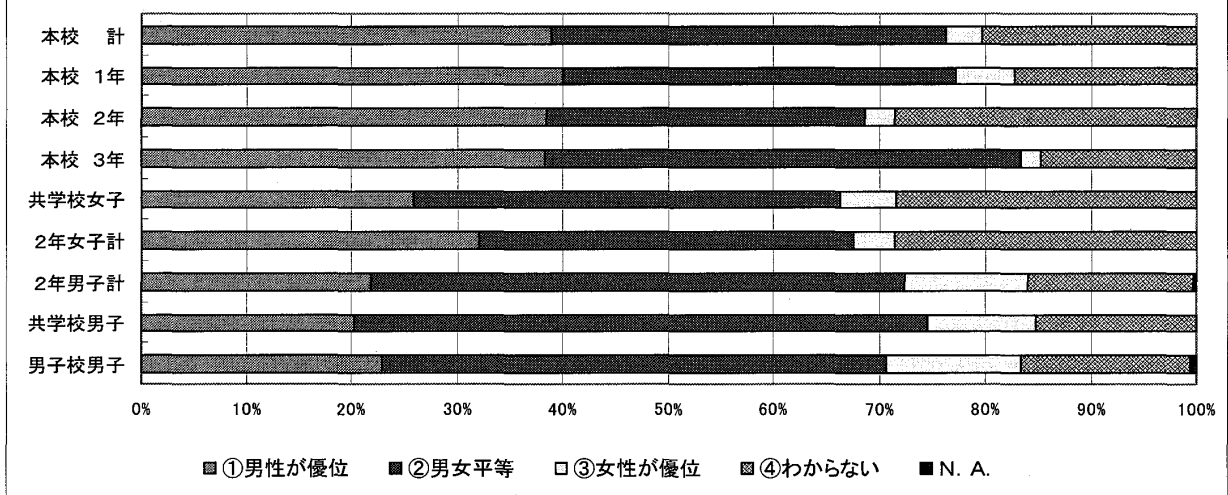
12 日本における男女平等 (3)学校教育



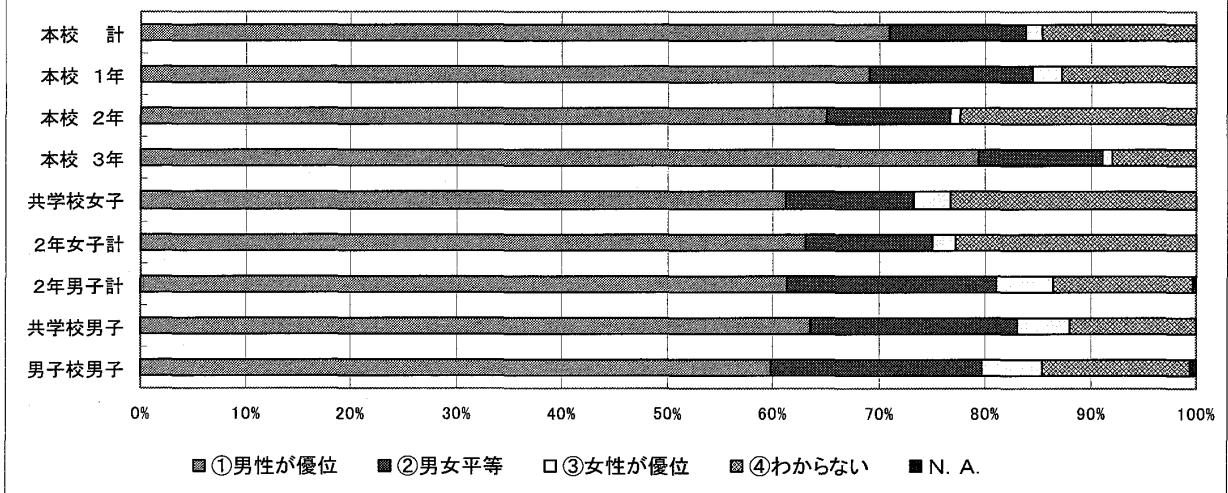
12 日本における男女平等 (4) 政治の場



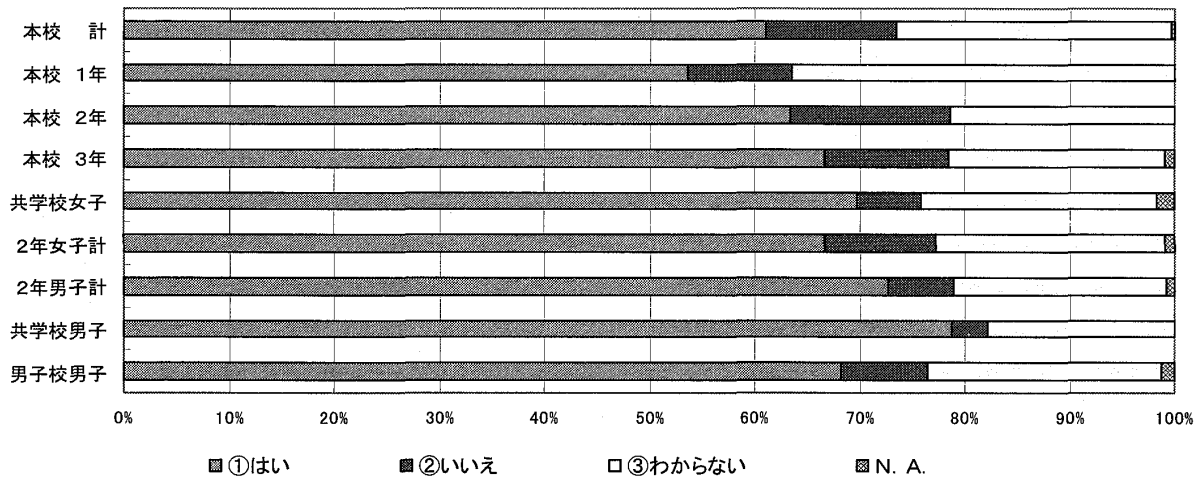
12 日本における男女平等 (5) 法律・制度



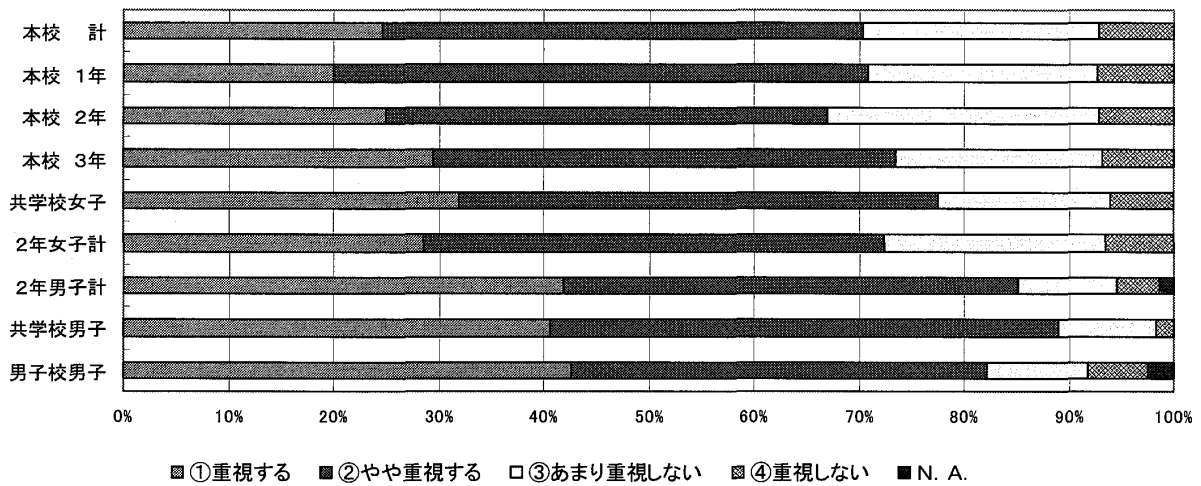
12 日本における男女平等 (6) 社会通念・慣習・しきたりなど



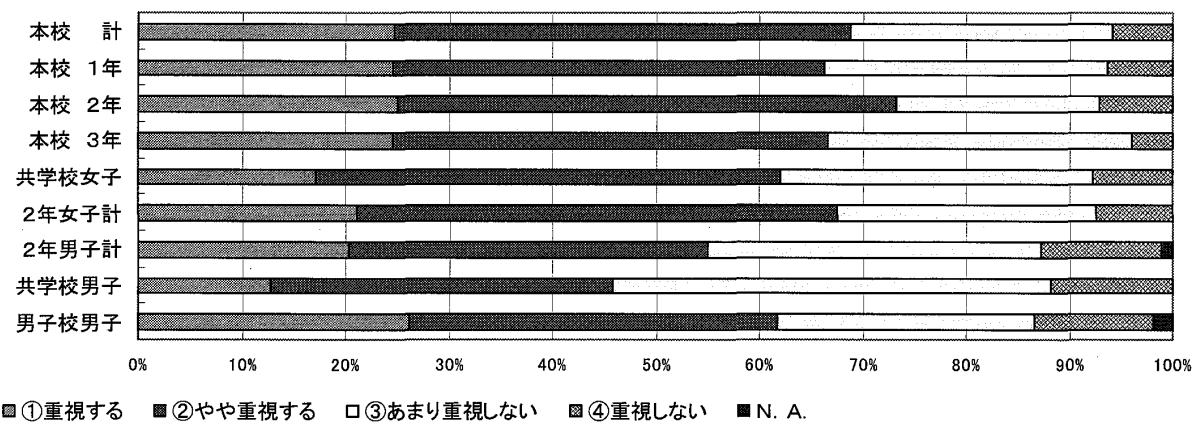
13. あなたはいずれ結婚しようと考えていますか。



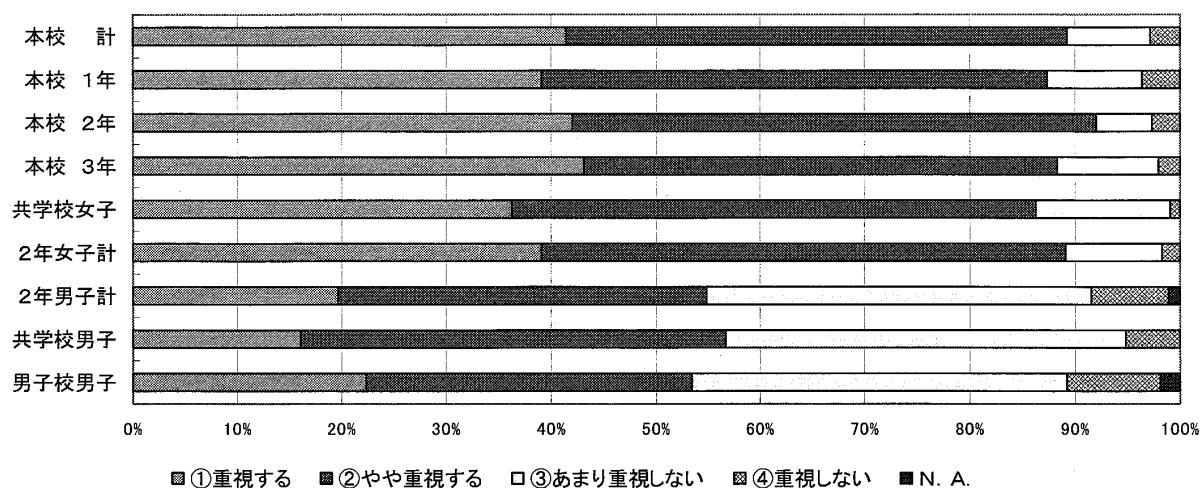
14 結婚する場合次の項目を重視するか (1)年齢



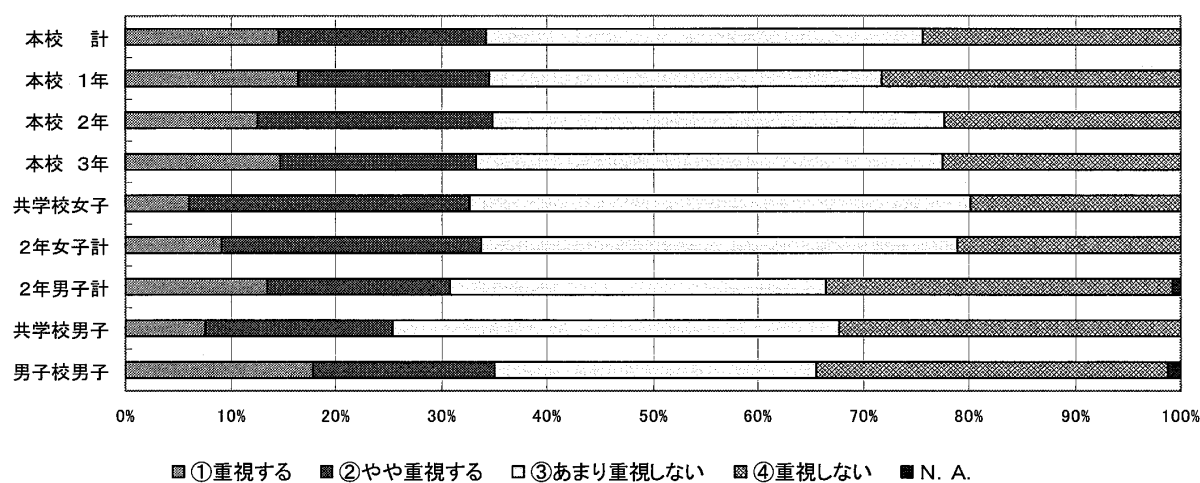
14 結婚する場合次の項目を重視するか (2)学歴



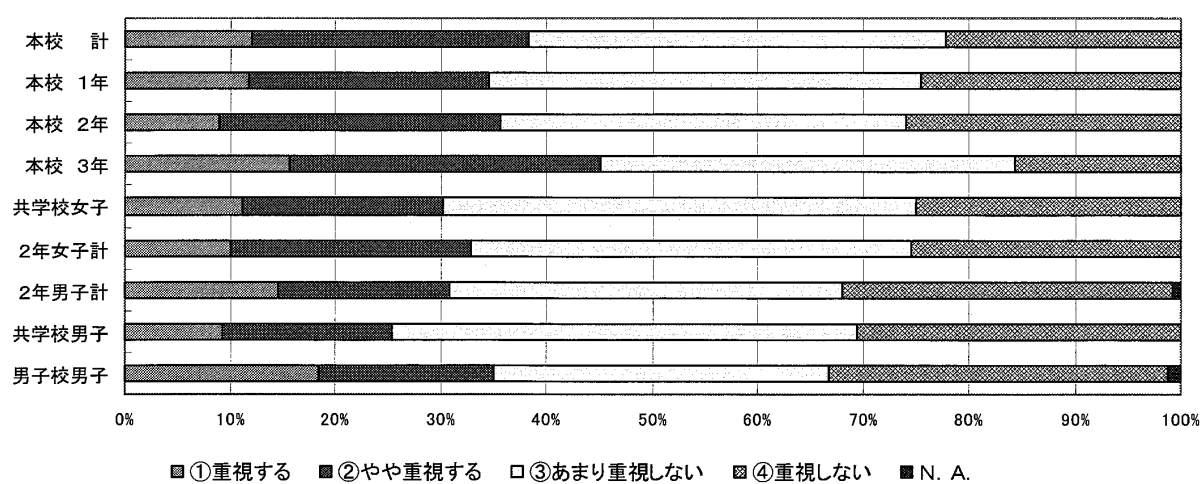
14 結婚する場合次の項目を重視するか (3)職業



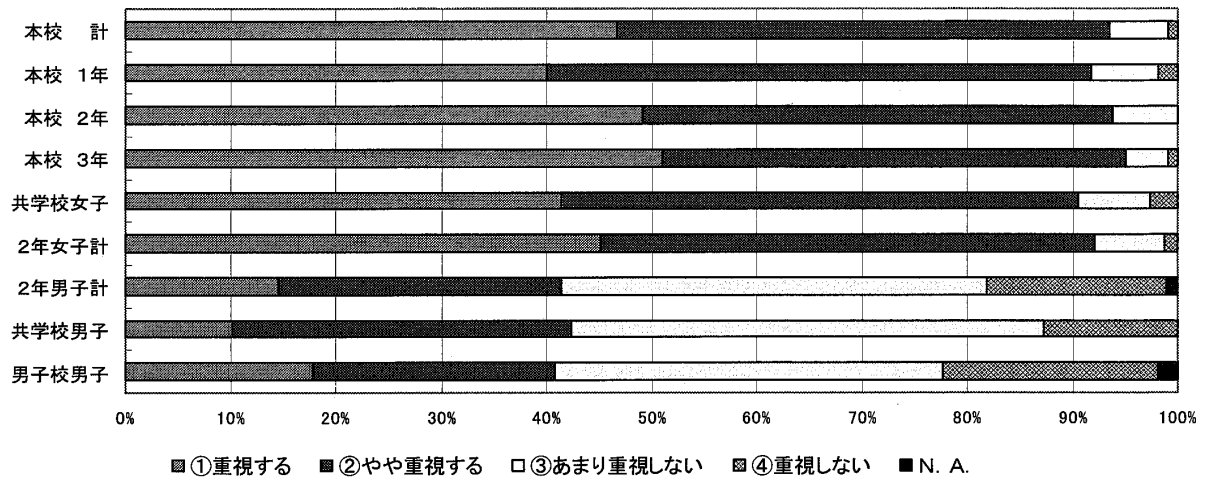
14 結婚する場合次の項目を重視するか (4)家柄



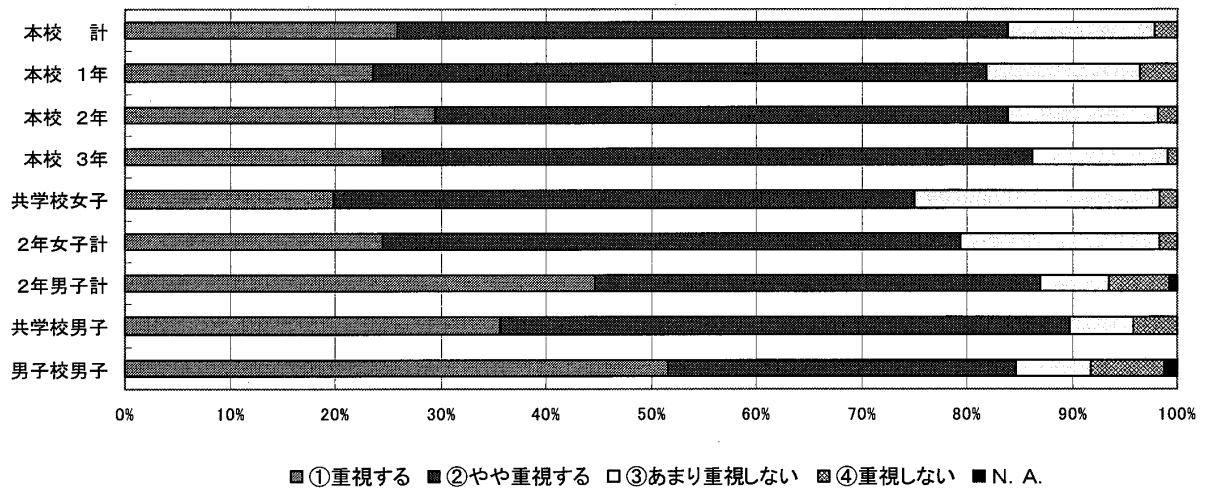
14 結婚する場合次の項目を重視するか (5)家族構成



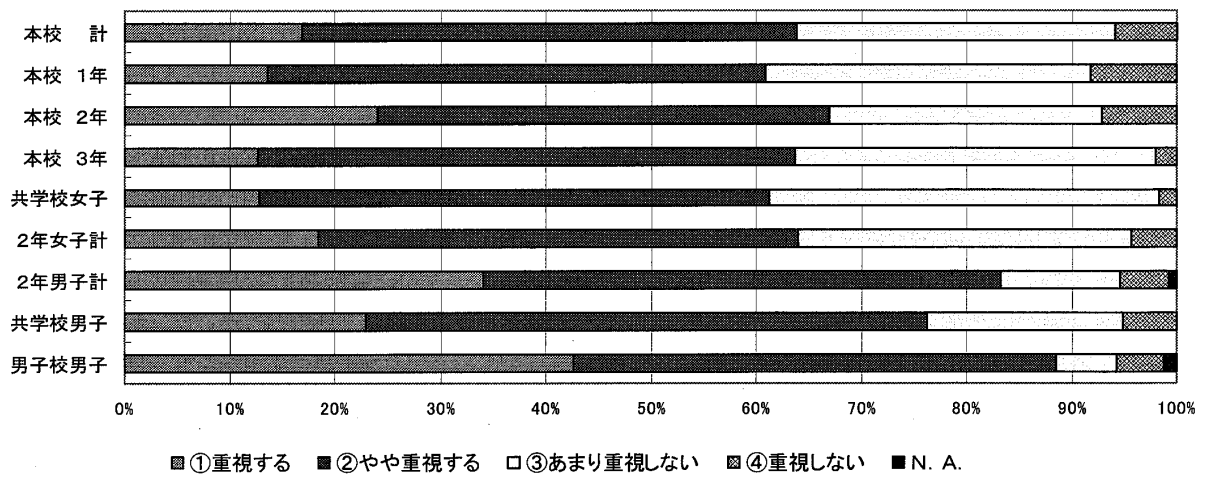
14 結婚する場合次の項目を重視するか (6) 経済力



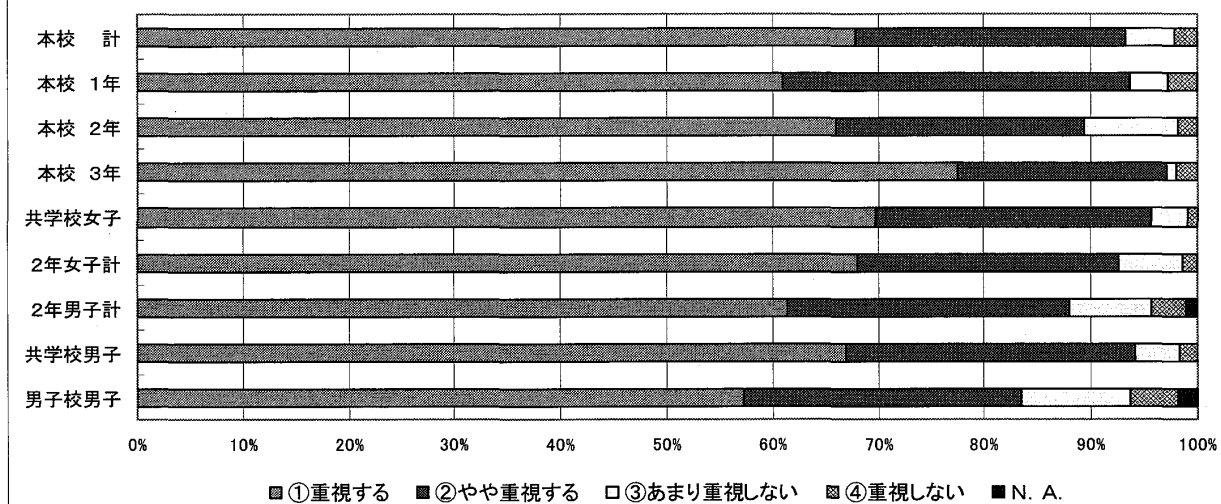
14 結婚する場合次の項目を重視するか (7) 家事・育児能力



14 結婚する場合次の項目を重視するか (8) 容姿

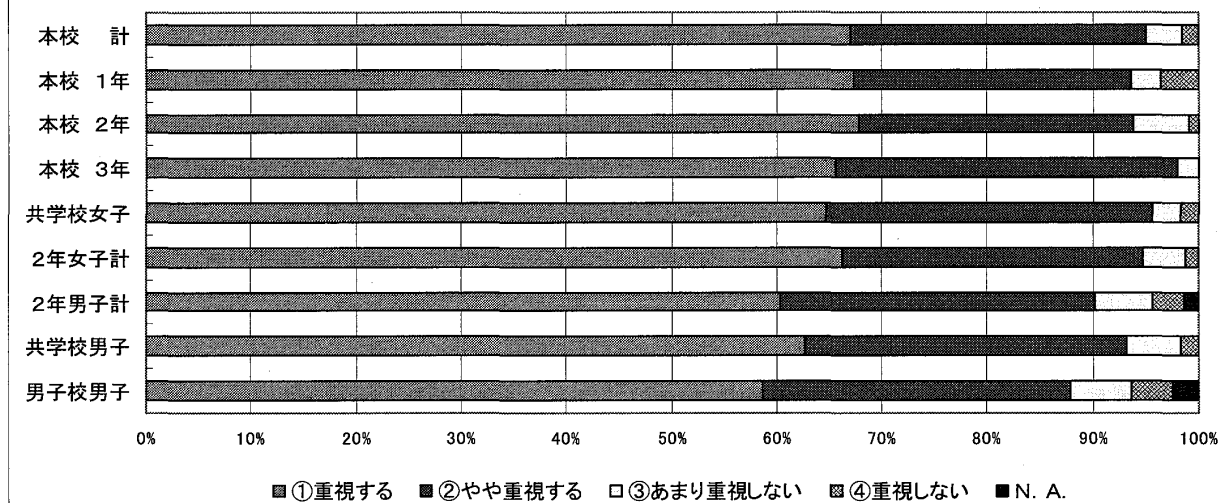


14 結婚する場合次の項目を重視するか (9) 価値観の共通性



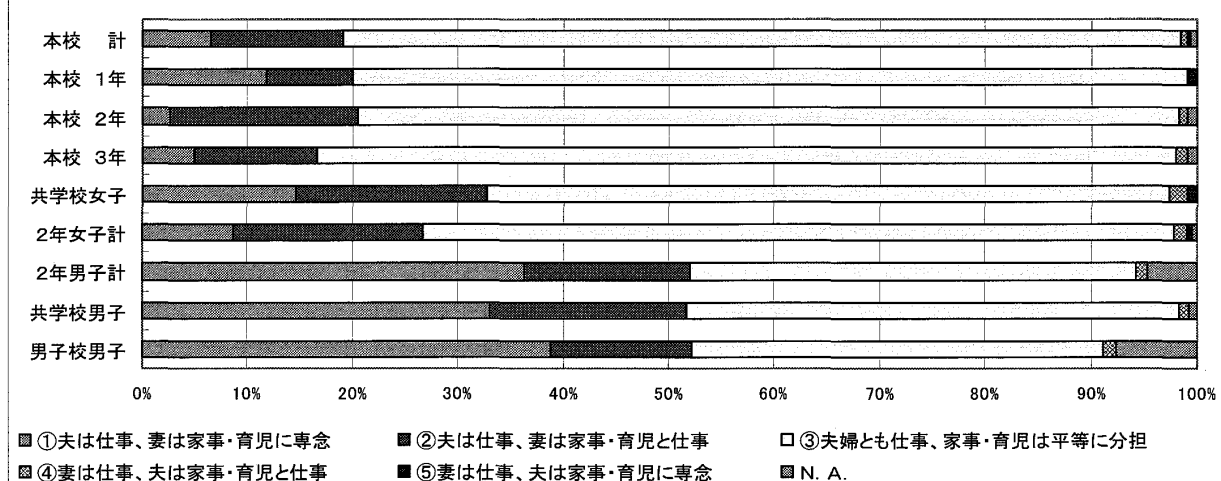
■ ①重視する ■ ②やや重視する □ ③あまり重視しない ▨ ④重視しない ■ N. A.

14 結婚する場合次の項目を重視するか (10) 自分の職業継続への理解



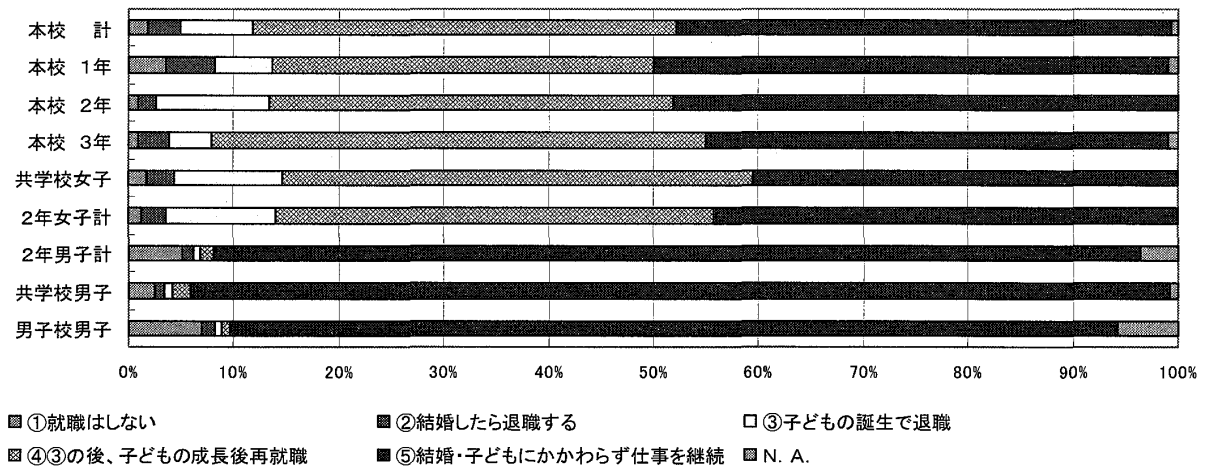
■ ①重視する ■ ②やや重視する □ ③あまり重視しない ▨ ④重視しない ■ N. A.

15. 夫婦間の役割についてあなたの考えに一番近いものを1つ選んでください。

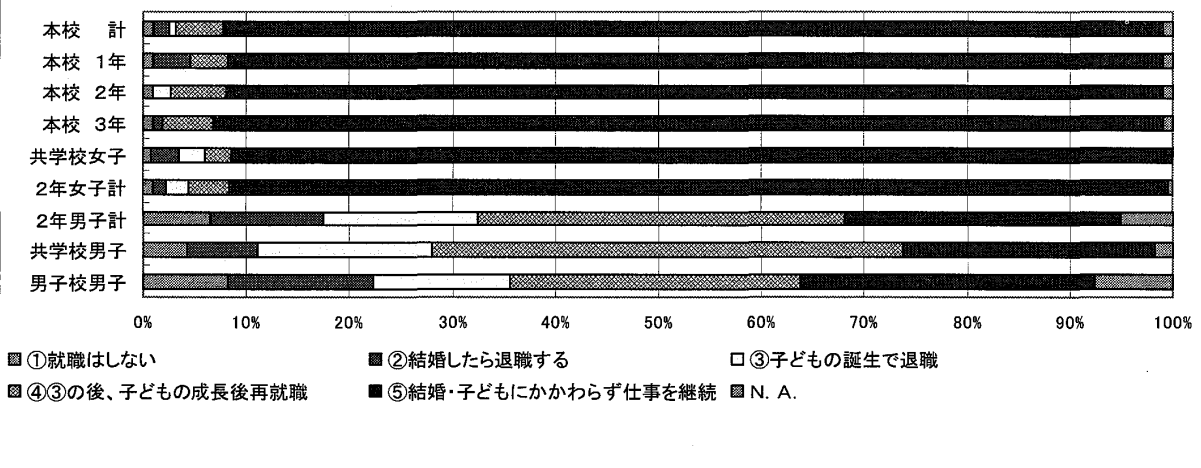


■ ①夫は仕事、妻は家事・育児に専念 ■ ②夫は仕事、妻は家事・育児と仕事 □ ③夫婦とも仕事、家事・育児は平等に分担
 ▨ ④妻は仕事、夫は家事・育児と仕事 ■ ⑤妻は仕事、夫は家事・育児に専念 ■ N. A.

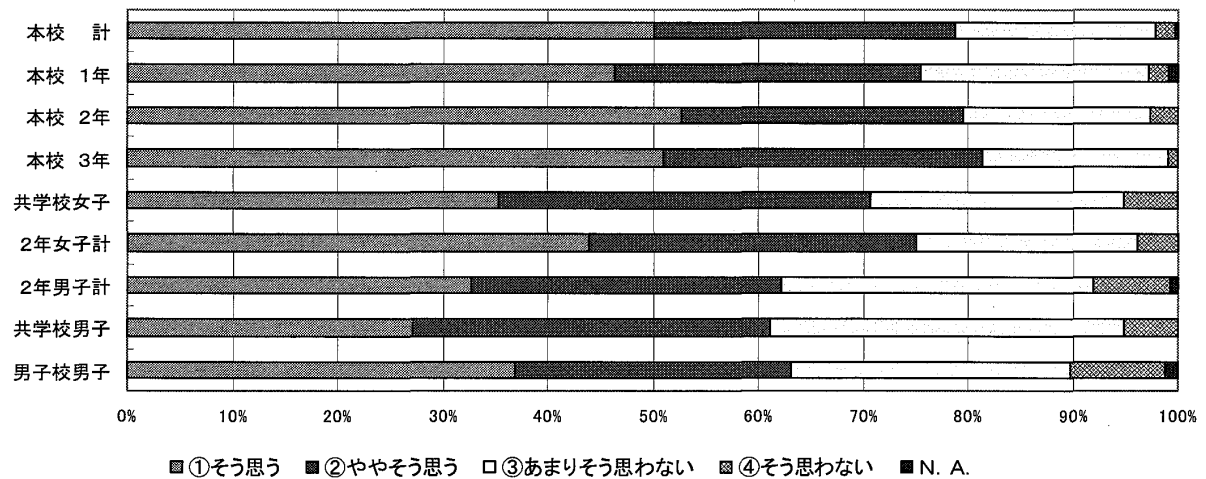
16. 職業と家庭の両立について、あなた自身の希望



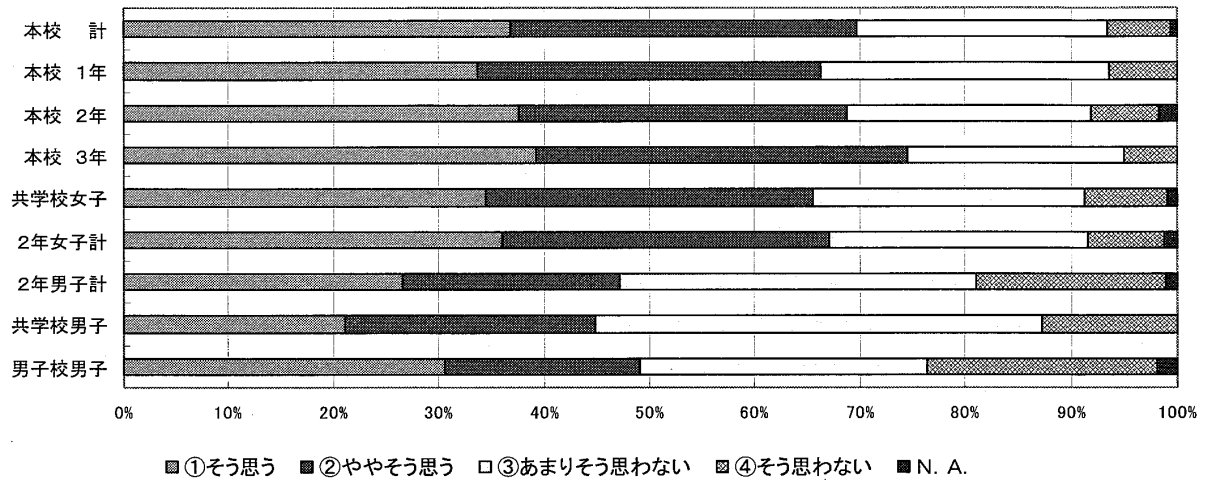
16. 職業と家庭の両立について、配偶者への希望



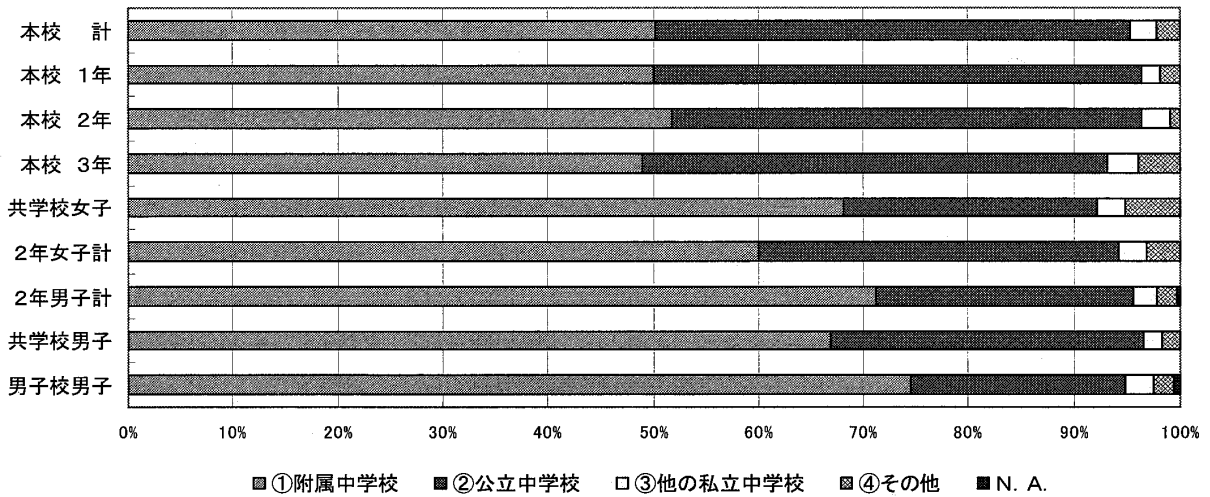
17. 結婚しなくても、幸せな人生を送ることができると思いますか。



18. 男女が希望すれば「別姓による結婚」が法的に認められるべきだと思いますか。



21. あなたの出身中学校は？



22. あなたのお母さんの経歴について教えてください。

